

加古川市文化財年報

第3号

平成29(2017)年度

令和2(2020)年3月

加古川市教育委員会

加古川市文化財年報

第3号

平成29(2017)年度

令和2(2020)年3月

加古川市教育委員会

目次

目次・例言・凡例

巻頭図版

第1章 調査研究	1
調査報告1 溝之口遺跡 確認調査報告	
調査報告2 平津構居跡 確認調査報告	
調査報告3 溝之口遺跡 確認調査報告	
調査報告4 東沢4・5号墳 確認調査報告	
調査報告5 元北在家道標 概要調査報告	
第2章 文化財の保護と活用	23
新市指定文化財1 天坊山古墳出土品一括	
新市指定文化財2 鶴林寺の木造聖徳太子立像	
第3章 歴史文化基本構想策定事業	32
第4章 文化財審議委員会	33
第5章 文化財関係の事務処理	35
第6章 組織、予算・決算、管理	45
抄録	

例言・凡例

1. 本書は、平成29（2017）年度に加古川市教育委員会が実施した文化財保護のための調査及び活動を記録した報告書である。
2. 本書の作成は、加古川市教育委員会事務局教育指導部文化財調査研究センターが行った。執筆は宮本佳典、浅井達也、平尾英希が行い、編集は平尾が行った。執筆の分担は文末に明記している。
3. 出土遺物の整理、実測、製図にあたっては、平尾のほか、浅井、埋蔵文化財専門員 岡田美穂、加古川市臨時職員 窪田美佳、佐藤 薫が担当した。
4. 図表作成のデータ整理にあたっては、加古川市臨時職員 奥野明子、高原みさ子の助力を得た。
5. 遺物実測図について、須恵器の断面は黒塗りで表現している。
6. 本書掲載の地図は、加古川市発行の都市計画図を一部改変し、使用した。縮尺などは各地図に示したとおりである。
7. 本書で報告した出土遺物、実測図、写真などは加古川市教育委員会が保管している。



写真1 天坊山古墳出土品一括



写真2 天坊山古墳第1主体出土獸形鏡



写真3 天坊山古墳出土鉄刀・鉄剣・鉄槍

第1章 調査研究

1 埋蔵文化財調査

国及び県の文化財関係補助金事業として、各種開発事業に伴い、市内遺跡の発掘調査や出土品の整理などを行った。平成29(2017)年度の事業費は4,200千円(国費2,100千円、県費1,050千円)であった。

平成29年度は、①開発事業に伴い破壊される遺構・遺物を記録保存することを目的とした発掘調査3件、②周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内での開発事業に伴い破壊される恐れのある遺構・遺物の状況を確認することを目的とした確認調査など21件、③周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)外での開発事業に伴い事前に埋蔵文化財の有無を把握することを目的とした試掘調査及び分布調査など15件を実施した(表1)。

発掘調査は、石町中世墓、古堂廃寺、片山遺跡の3遺跡において実施した。石町中世墓の発掘調査は、民間開発の駐車場進入路建設工事に伴い実施したものである。一方、古堂廃寺と片山遺跡の発掘調査は、兵庫県が事業実施主体となって行っている農業基盤整備事業の雁戸井地区ほ場整備事業に伴い実施したものである。以下、各調査成果の概要について述べていく。

石町中世墓の発掘調査では、周囲を石敷き溝で区画する土坑に蔵骨器などを埋納した「区画墓」2基、蔵骨器を埋納した「蔵骨器埋納坑」3基、焼骨を埋納した土坑の周辺にピットを設けた「ピット付設焼骨埋納坑」4基、焼骨を埋納した「焼骨埋納坑」8基など、平安時代後期から南北朝時代にかけての多様な埋葬施設が多数検出された。遺物は、土師器や須恵器、黒色土器、瓦質土器、龍泉窯系青磁碗、埴仏などが出土した。また、発掘調査後に行った追加調査において、土師器杯・鍋・羽釜、須恵器碗などの供膳具や煮沸具がまとめて出土した土坑1基が検出された。なお、発掘調査の成果については、『石町中世墓発掘調査報告書』(加古川市文化財調査報告30)として、平成30(2018)年12月に刊行した。

古堂廃寺の発掘調査では、前年度の平成28(2016)年度に発掘調査を実施した上村池遺跡と古堂廃寺の調査区1～3のうち、調査区3の延長部分について追加調査を行った。調査の結果、平安時代の掘立柱建物1棟、溝状遺構1条、土坑3基、ピット数十基のほか、鎌倉時代の木棺墓1基が検出された。遺物は、木棺墓から土師器皿5点と龍泉窯系の青磁碗1点が一括出土したほか、調査区全体から土師器や須恵器が出土した。なお、発掘調査の成果については、前年度に実施した調査成果と併せて『上村池遺跡発掘調査報告書I』(加古川市文化財調査報告32)として、令和2(2020)年3月に刊行した。

片山遺跡の発掘調査では、古堂廃寺における発掘調査と同様に、ほ場整備事業によって遺跡が破壊される範囲に1箇所調査区を設定し調査を実施した。調査の結果、掘立柱建物5棟のほか、溝状遺構や多数のピットが検出されたものの、遺物はほとんど出土しなかった。そのため、多くの遺構が時期不明のものであるが、掘立柱建物のなかには弥生時代のものと平安時代から鎌倉時代にかけてのもの2時期が存在する可能性が考えられる。なお、調査範囲の一部については、次年度の平成30年度に実施することとなった。令和2年3月現在、平成30年度の調査成果と併せて整理作業中である。

一方、試掘調査や確認調査では、古堂廃寺と片山遺跡の発掘調査と併行して、雁戸井地区ほ場整備事業に伴う試掘・確認調査を行った。また、市道下村3号線等の道路拡幅工事や日岡山公園再整備事業、加古川駅北街区公園(第3公園)整備事業などの公共工事に伴って試掘調査を実施するとともに、個人住宅や店舗、宅地造成などの民間開発に伴い周知の埋蔵文化財包蔵地内外で調査を実施した。このほか、新たに雁戸井地区ほ場整備事業の対象範囲に加わった八幡町中西条地区などにおいて分布調査を実施した。

本年報では、これらの調査のうち、遺構・遺物が確認されたものを中心として、以下4件の調査成果について報告する(図1)。

- 調査報告 1 溝之口遺跡 確認調査報告
 調査報告 2 平津構居跡 確認調査報告
 調査報告 3 溝之口遺跡 確認調査報告
 調査報告 4 東沢4・5号墳 確認調査報告

2 その他の文化財調査

埋蔵文化財を除くその他の文化財調査については、市指定文化財の指定に係る美術工芸品の事前調査2件、所有者などからの照会及び情報提供に伴い保護の必要性を判断するための現状把握調査2件を実施した。このほか、指定文化財を含む市内文化財の現状確認のための巡視24件を行った。

市指定文化財の指定に係る美術工芸品の事前調査は、平成30年3月2日に加古川市指定文化財となった天坊山古墳出土品一括と鶴林寺木造聖徳太子立像に係るものである。その要点については、「第2章文化財の保護と活用／1 指定・登録文化財」に記している。

その他の現状把握調査では、元北在家道標について概要調査を行った。今後の文化財保護活動のため、本年報において以下のとおり報告を行う(図1)。

調査報告 5 元北在家道標 概要調査報告

(平尾)

表1 発掘調査、試掘・確認調査及び分布調査一覧

発掘調査

番号	遺跡	所在地	調査期間	調査面積	調査概要	備考
1	石町中世墓 その他の墳墓 中世	別府町石町54番1・2	9月8日 ～10月11日	86㎡	墓坑、土師器・須恵器・瓦質土器・ 青磁・埴仏	
2	古堂庵寺 社寺跡 奈良	八幡町上西条地内	11月1日 ～12月8日	216㎡	掘立柱建物跡・墓坑・溝・土坑・ ピット、土師器・須恵器・青磁	雁戸井地区 ほ場整備事業に伴う 本発掘調査
3	片山遺跡 集落跡 弥生・奈良～中世	八幡町下村地内	1月10日 ～2月28日	230㎡	掘立柱建物跡・溝・ピット、弥 生土器・須恵器	雁戸井地区 ほ場整備事業に伴う 本発掘調査

試掘・確認調査、分布調査

番号	遺跡 ^{註1}	所在地	調査期間 ^{註2}	調査面積	調査概要	備考
1	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	東神吉町西井ノ口217番4	4月12日	4㎡	遺構・遺物なし	
2	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	加古川町溝之口109番1・4、 111番4	4月19日	8.5㎡	遺構・遺物なし	
3	平岡町二俣地区	平岡町二俣9・10番の各一部、 15番1の一部	4月20日	9㎡	溝、遺物なし	試掘調査
4	志方大歳神社遺跡 散布地 旧石器	志方町上富木668番2・5・6	4月28日	4㎡	遺構・遺物なし	
5	八幡町中西条地区	八幡町中西条地内	5月9・10日	120,000㎡	土師器・須恵器・石鏃など	分布調査
6	観音寺城跡 城館跡 中世	志方町志方町1519番1	5月11日	4㎡	遺構・遺物なし	
7	上荘町小野地区	上荘町小野地内	5月18日	約50㎡	古墳(箱形石棺)、遺物なし	分布調査後、包蔵地 変更(平尾山古墳)
8	平荘町山角地区	平荘町山角1038番1～9	5月29日	約7,200㎡	遺構・遺物なし	分布調査
9	八幡町上西条地区	八幡町上西条地内	5月30日	約1,400㎡	古墳、遺物なし	分布調査後、包蔵地 変更(東沢4・5号墳)
10	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	加古川町美乃利337番1・4	6月5・6日	22.5㎡	遺構なし、土師器・須恵器	

番号	遺跡 ^{註1}	所在地	調査期間 ^{註2}	調査面積	調査概要	備考
11	中西低地遺跡 集落跡 弥生～古墳	西神吉町大国1番1、中西61番3	6月13日	4㎡	遺構・遺物なし	
12	別府町石町地区	別府町石町54番1・2	6月22日	9㎡	性格不明遺構、須恵器・瓦質土器	試掘調査後、包蔵地変更（石町中世墓）
13	石町中世墓 その他の墳墓 中世	別府町石町54番1・2	6月27日 ～7月4日	56㎡	土坑、須恵器・瓦質土器	確認調査後、発掘調査
14	平津構居跡 城館跡 中世	米田町平津522番2	7月13日	6㎡	遺構なし、弥生土器・土師器・須恵器	
15	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	加古川町溝之口122番1・3の各一部	7月25・26日、 11月1日	12㎡	溝、土師器・須恵器	
16	長砂構居跡 城館跡 中世	野口町長砂598番1、2の一部、 3、597番8	8月2日	8㎡	遺構・遺物なし	
17	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	加古川町美乃利642番9	8月9・19日	4㎡	溝、土師器・須恵器	
18	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	加古川町美乃利644番1	10月4日	4㎡	遺構・遺物なし	
19	野口町坂元地区	野口町坂元130番ほか	10月20日	20㎡	遺構・遺物なし	試掘調査
20	升田遺跡 集落跡 奈良	東神吉町升田1180・1181番の各一部	10月30日	6.5㎡	遺構・遺物なし	
21	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	加古川町美乃利525番22・35	10月31日	8㎡	遺構なし、土師器	
22	東沢4号墳 古墳 古墳 ----- 東沢5号墳 古墳 古墳 ----- 八幡町上西条地区	八幡町上西条地内	10月30日 ～12月6日	104㎡	周溝、須恵器 溝・ピット・性格不明遺構、遺物なし	試掘調査後、包蔵地変更（西田池南遺跡）
23	加古川町稲屋地区	加古川町稲屋44番1の一部ほか	11月10日	20㎡	遺構・遺物なし	試掘調査
24	北大塚古墳 古墳 古墳	神野町日岡苑16番13	11月28日	16㎡	遺構・遺物なし	
25	下村遺跡 集落跡 弥生～平安	八幡町下村879番1、908番	11月29日	2㎡	遺構・遺物なし	
26	岸遺跡 集落跡 縄文～弥生	西神吉町岸371番4	12月13日	4㎡	遺構・遺物なし	
27	上荘町国包、八幡町下村地区	上荘町国包545番地先～八幡町下村1165番地先	12月25日	14㎡	遺構・遺物なし	市道下村3号線道路拡幅事業に伴う試掘調査
28	東神吉町神吉地区	東神吉町神吉162番1	12月26日	10㎡	遺構・遺物なし	加古川市立東神吉幼稚園立替工事に伴う試掘調査
29	加古川町大野地区	加古川町大野地内	1月18日	12㎡	遺構・遺物なし	日岡山公園整備事業に伴う試掘調査
30	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	加古川町大野845番	1月23日	5.5㎡	遺構・遺物なし	
31	野口町北野地区	野口町北野720番1・7、721番1、752番10	1月30日	20㎡	遺構なし、須恵器	試掘調査
32	加古川町木村地区	加古川町木村64番、65番1	2月15日	10㎡	遺構・遺物なし	加古川区検察庁跡地開発事業に伴う試掘調査
33	加古川町篠原町地区	加古川町篠原町地内	2月16日	8㎡	耕作痕跡、遺物なし	加古川駅北街区公園整備事業に伴う試掘調査
34	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	加古川町大野713番2	2月27日	8㎡	遺構なし、土師器・須恵器	

註1：試掘調査については、遺跡の名称及び種類、時代ではなく地区名を記している。

註2：試掘・確認調査における調査期間には、その調査期間のほか、その後に実施した工事立会などの期間も含む。



図1 埋蔵文化財調査及びその他の文化財調査（本書報告分）位置図

調査報告 1 溝之口遺跡 確認調査報告

調査場所 加古川市加古川町美乃利337番1・4
調査期間 平成29(2017)年6月5・6日
調査面積 22.5㎡
担当者 浅井達也、山中リュウ

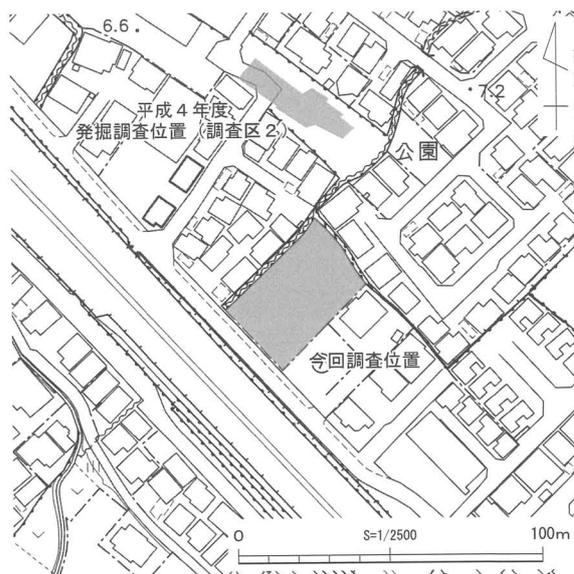


図2 調査位置図

1 調査に至る経緯

加古川市加古川町美乃利337番1・4において宅地造成工事が予定された(図2)。当該地は溝之口遺跡の範囲内に該当していたため、開発者と事前協議を行い、遺構・遺物の有無について確認調査を実施することになった。

なお、今回工事予定地は溝之口遺跡の東部に位置しており、平成4(1992)年度に加古川市教育委員会が実施した調査地の南側に近接している。当時の調査では、弥生時代の方形周溝墓や土坑、平安時代の掘立柱建物や溝などが検出されているため、今回工事予定地でも同様の遺構が検出されることが予想された。

2 調査の結果

工事予定地内の東西南北端部及び中央部に、長さ3m、幅1.5mの調査区を計5箇所設定し、確認調査を実施した(図3・4)。

各調査区ともに地表下1.2m前後まで盛土、旧耕作土、床土が堆積し、その直下に遺物包含層である

灰黄色粘質土層(第4層)が堆積する。第4層の厚さは0.2~0.6mで、北側・西側に設定した調査区1・4・5に比べ、南側・東側の調査区2・3は厚くなっている。その下位の黄褐色粘質土層(第5層)からは遺物は出土せず、地表下1.9mで褐色砂質土層(第6層)に達した。第6層は礫を多く含み、また湧水が激しいため、旧河道の堆積層と考えられる。

遺物は約200点の土器片が出土したが、接合できたものはごく僅かであった。ほとんどが奈良時代以降の須恵器片で、土師器は少ない(図5)。遺構は確認できなかった。

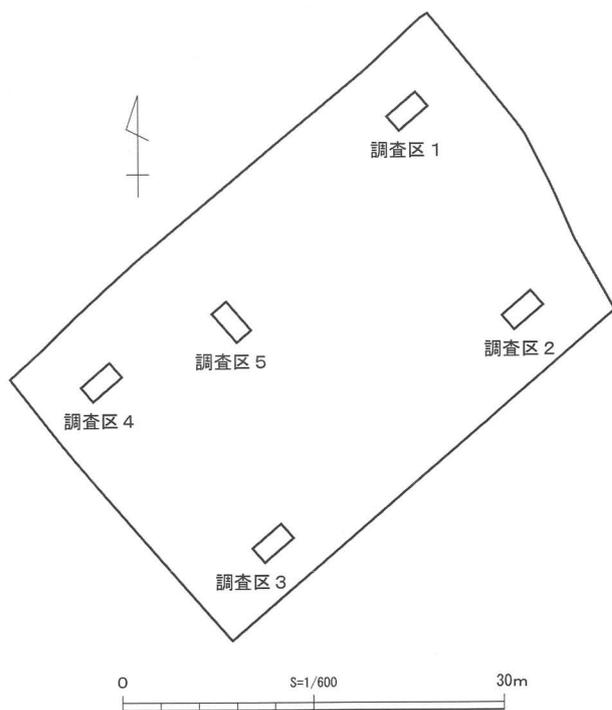


図3 調査区配置図

3 まとめ

当該地は、弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡である溝之口遺跡の東部に位置してお

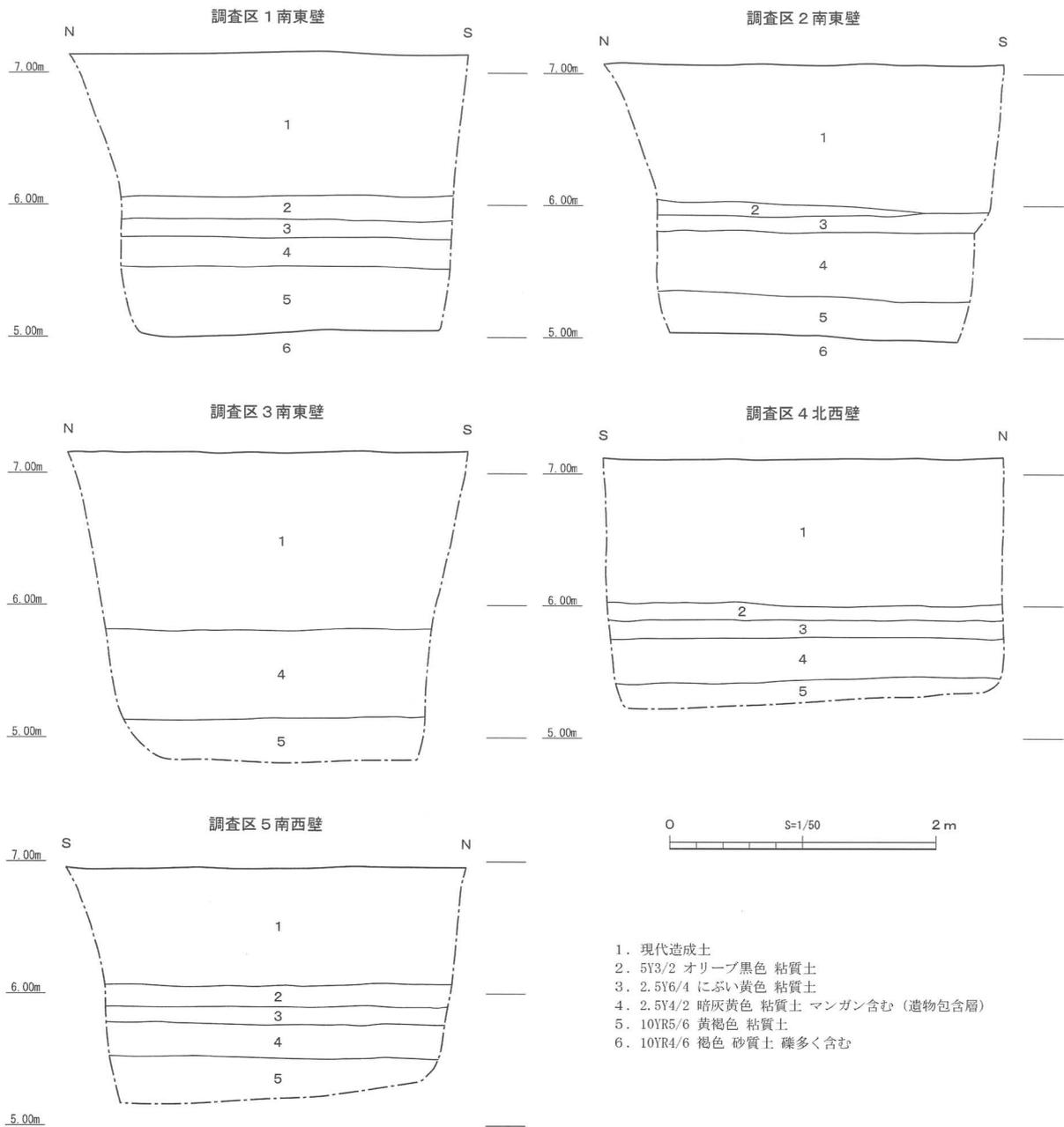


図4 調査区1～5土層断面図

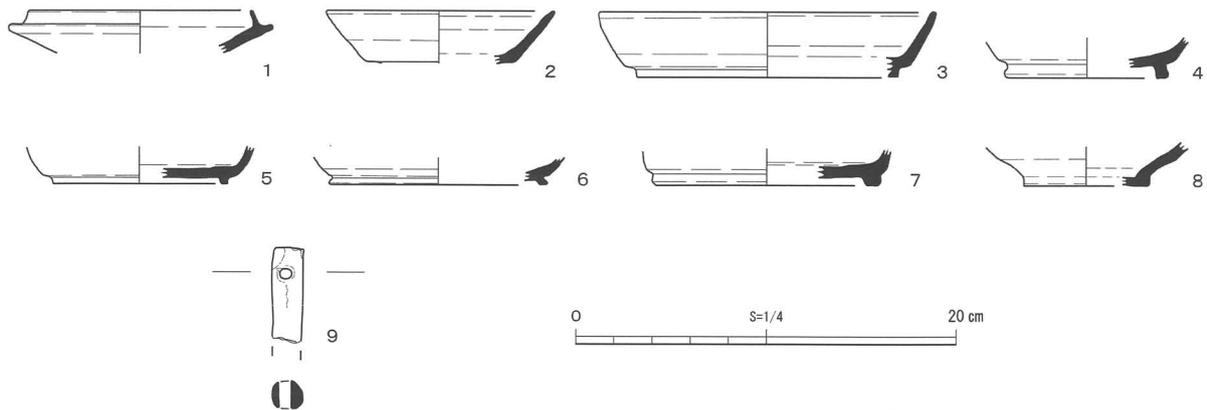


図5 出土遺物

り、昭和42（1967）年以降数次にわたり実施されてきた周辺での調査成果に加え、遺跡を再評価する材料が得られることが期待された。しかし、遺構は検出できず、平成4年度調査で多く出土した弥生時代の遺物もほとんどみられなかった。遺物包含層とした第4層は奈良時代以降の水田土壌である可能性も検討したが、今回の調査では水田跡と判断できる畦畔などの痕跡は確認できなかった。

調査地周辺は既にほとんどが宅地化されているが、未調査の区域も残されているので、限られた機会を捉えて調査を行っていききたい。（浅井）

参考文献

西川英樹 2006『溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅱ』加古川市文化財調査報告20 加古川市教育委員会

山中リュウ編 2018『溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅳ・美乃利遺跡発掘調査報告書Ⅰ』加古川市文化財調査報告29
加古川市教育委員会



写真4 調査区1土層堆積状況（北西から）



写真5 調査区2土層堆積状況（北西から）



写真6 調査区3土層堆積状況（北西から）



写真7 調査区4土層堆積状況（南東から）



写真8 調査区5土層堆積状況（北東から）

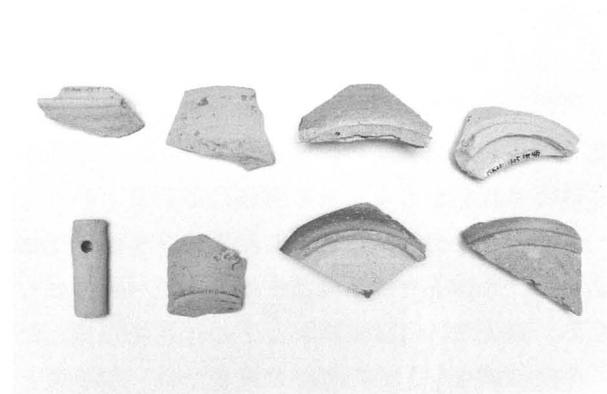


写真9 調査区1～5包含層出土遺物

調査報告 2 平津構居跡 確認調査報告

調査場所 加古川市米田町平津522番 2
調査期間 平成29 (2017) 年 7 月13日
調査面積 6 m²
担当者 浅井達也

1 調査に至る経緯

米田町平津522番 2において個人住宅建設工事が予定された(図6)。当該地は平津構居跡の西端部に一部該当し、平成8(1996)年度に加古川市教育委員会が土地区画整理事業に伴う範囲確認調査を実施した調査地に隣接する。平成8年度の調査では弥生時代から奈良時代の遺物が多く出土した(西川2003)。このため、開発者と事前協議を行い、遺構・遺物の有無について確認調査を実施することになった。



図6 調査位置図

2 調査の結果

工事予定地内に長さ3m、幅2mの調査区を1箇所設定し、確認調査を実施した(図7・8)。

土層の堆積状況は、地表下1.0mまで表土、旧耕作土が堆積する。その下位には灰黄褐色粘質土の遺物包含層(第3・4層)がほぼ水平に堆積し、地表下1.4mで黄褐色粘質土の地山層(第5層)に達する。しかし、いずれの層からも遺構は確認されなかった。



図7 調査区配置図

包含層から約50点の弥生土器、土師器、須恵器の破片が出土した(図9)。遺物は、弥生時代から奈良時代の土器がほぼ水平に堆積した包含層から混在した状態で出土しているため、流れ込みの遺物と考えられる。

3 まとめ

当該地は中世の城館跡とされる平津構居跡の西端部に位置する。平津構居については『増訂印南郡誌(前後編)』(兵庫県印南郡役所1973)に記述があるものの、現在まで中世城館に関する遺構などは確認されておらず、その詳細は不明といわざるを得ない。

今回調査地の周辺で実施した平成8年度の確認調査では、おもに弥生時代から奈良時代の遺物が出土した。今回調査地に隣接する試掘坑(試掘坑6)からは、地山面から柱穴状遺構が検出されているため、調査地近辺に建物跡などの存在を想定したが、今回調査では確たる遺構は検出されなかった。

今回の調査も含めた既往の調査では、前述のとおり中世城館に関連する遺構・遺物は確認されておらず、調査地周辺に平津構居の存在は考えにくくなった。調査地は加古川右岸に位置し、周辺は加古

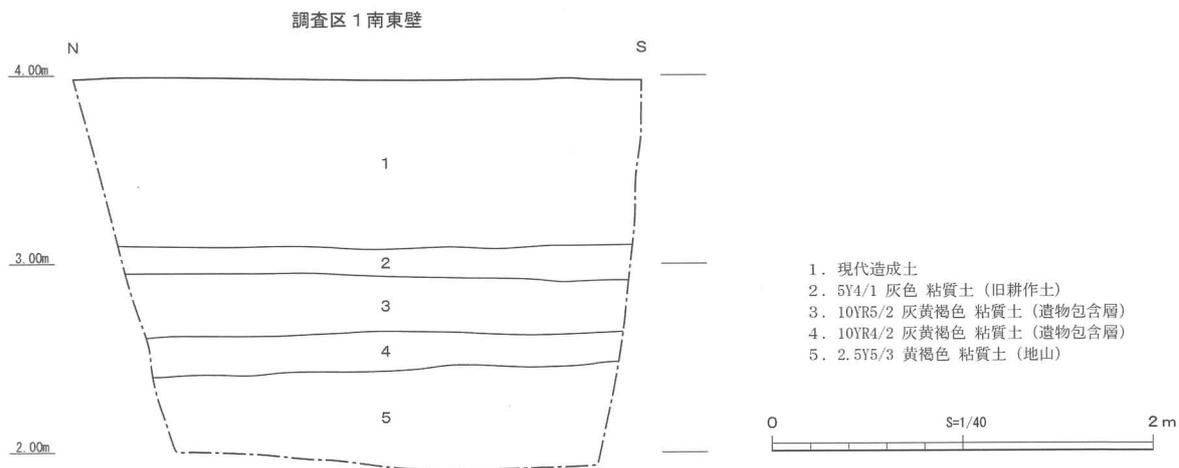


図 8 調査区 1 土層断面図

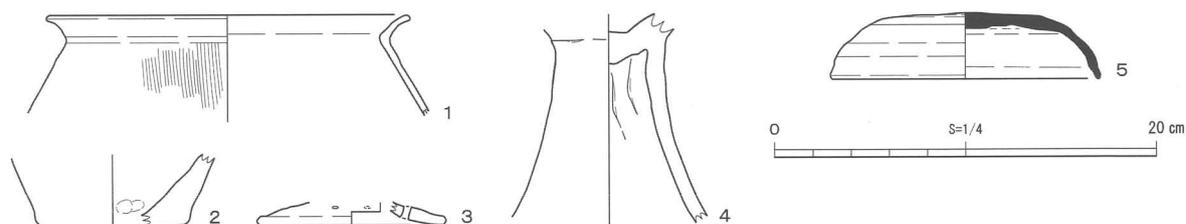


図 9 出土遺物

川の氾濫原が広がっており、旧河道と微高地がおりなす地形である。今回出土した遺物は加古川上流側から流されてきたものと考えられ、付近に弥生時代から奈良時代頃の集落遺跡が存在する可能性がより高まったといえる。

平津構居の所在地については諸説あり、現在包蔵地登録されている平津構居跡については遺跡の範囲及び性格を再検討する必要がある。(浅井)

参考文献

- 西川英樹 2003『加古川市埋蔵文化財調査集報Ⅱ』加古川市文化財調査報告18 加古川市教育委員会
 兵庫県印南郡役所 1973『増訂印南郡誌(前後編)』名著出版

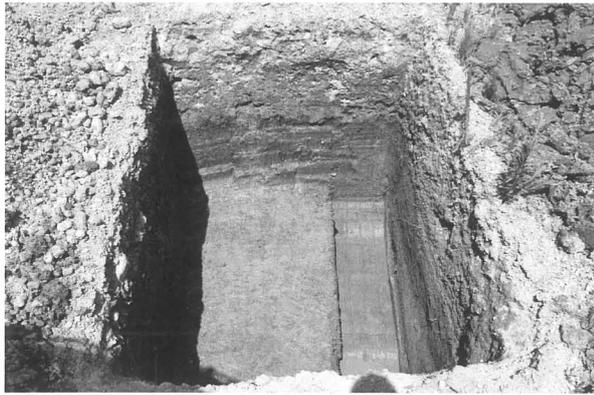


写真10 調査区1完掘状況(南西から)

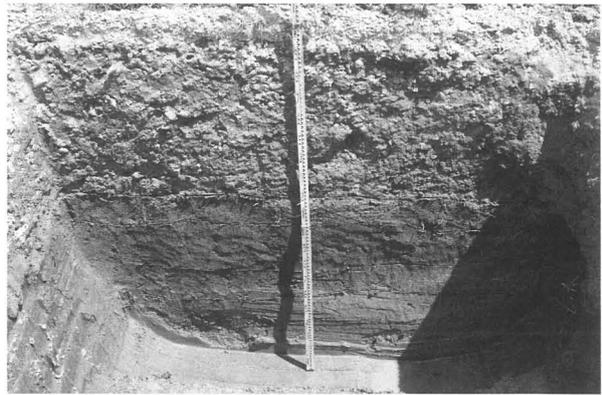


写真11 調査区1土層堆積状況(北西から)

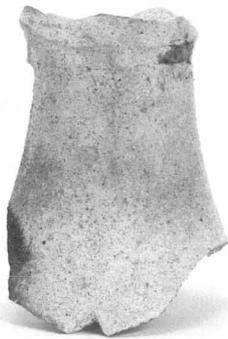


写真12 調査区1包含層出土遺物1



写真13 調査区1包含層出土遺物2



写真14 調査区1包含層出土遺物3

調査報告 3 溝之口遺跡 確認調査報告

調査場所 加古川市加古川町溝之口122番1・3の
各一部
調査期間 平成29（2017）年7月25・26日
調査面積 12㎡
担当者 浅井達也、平尾英希



図10 調査位置図

1 調査に至る経緯

加古川市加古川町溝之口122番1・3の各一部において共同住宅建設工事が予定された（図10）。当該地は溝之口遺跡の範囲内に該当しており、平成21（2009）年度に実施した北東側隣接地の調査で、遺構・遺物が検出されている。そのため、開発者と事前協議を行い、遺構・遺物の有無について確認調査を実施することになった。

2 調査の結果

工事予定地に一辺2mの調査区を計3箇所設定し確認調査を実施した（図11・12）。以下、各調査区の内容について述べる。

調査区1 調査地の北側に設定した調査区である。土層の堆積状況は地表下0.6m前後まで耕作土、床土が堆積する。その下位から遺物包含層の灰褐色細砂層（第5層）が約0.4m、褐色極細砂層（第8層）が約0.1m、灰褐色シルト層（第9層）が約0.15m、褐灰色粘質土層（第10層）が約0.6m堆積する。その下に黒褐色粘質土層（第11層）と黒色粘質土層（第12層）が約0.3m堆積し、地表下約2.0mで黒褐色極粗砂層の地山面に至る。調査範囲が狭く平面的な形状は不明だが、調査区3との地山面の高さの違いや堆積の状況などから第8～12層は何らかの落ち込みに伴う遺構埋土と考えられる。第5・8～12層には遺物が多く含まれており、土師器と須恵器が出土したが（図13-1～4）、須恵器の割合が高い。特に第11層の最下層からは須恵器片が集中して出土した。

調査区2 調査地の南側に設定した調査区である。土層の堆積状況は地表下0.7m前後まで耕作土、床土が堆積する。その下位から遺物包含層の灰褐色細砂層（第5層）が約0.3m、褐色極細砂層（第

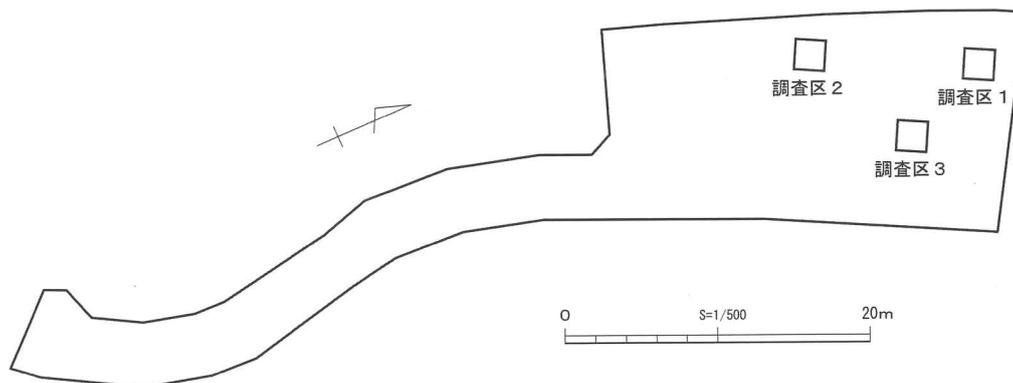


図11 調査区配置図

6層)が約0.05m、褐灰色シルト層(第7層)が約0.15m、褐色極細砂層(第8層)が約0.1m、褐灰色粘質土層(第10層)が約0.25m堆積する。その下に黒色粘質土層(第12層)が約0.5m、地表下約1.6mで黒褐色極粗砂層の地山面に至る。調査区1と同様に第7・8・10・12層は落ち込みの遺構埋土と考えられるが、掘削範囲全体に及んでいるため平面形は不明である。第5～8・10・12層には遺物が含まれていた。遺物は土師器、須恵器であるが(図13-5)、調査区1に比べて出土量は少ない。調査区3 調査地の東側に設定した調査区である。土層の堆積状況は地表下0.55m前後まで耕作土、灰褐色シルト層が堆積する。その下から遺物包含層の灰褐色細砂層(第5層)が約0.2m、褐色極細砂層(第6層)が約0.1m堆積する。地表下0.8mで黒褐色極粗砂層の地山面に至る。調査区1・2に比べ、地山面の標高が高い。遺物は第5層から土師器、須恵器が出土した(図13-6)。

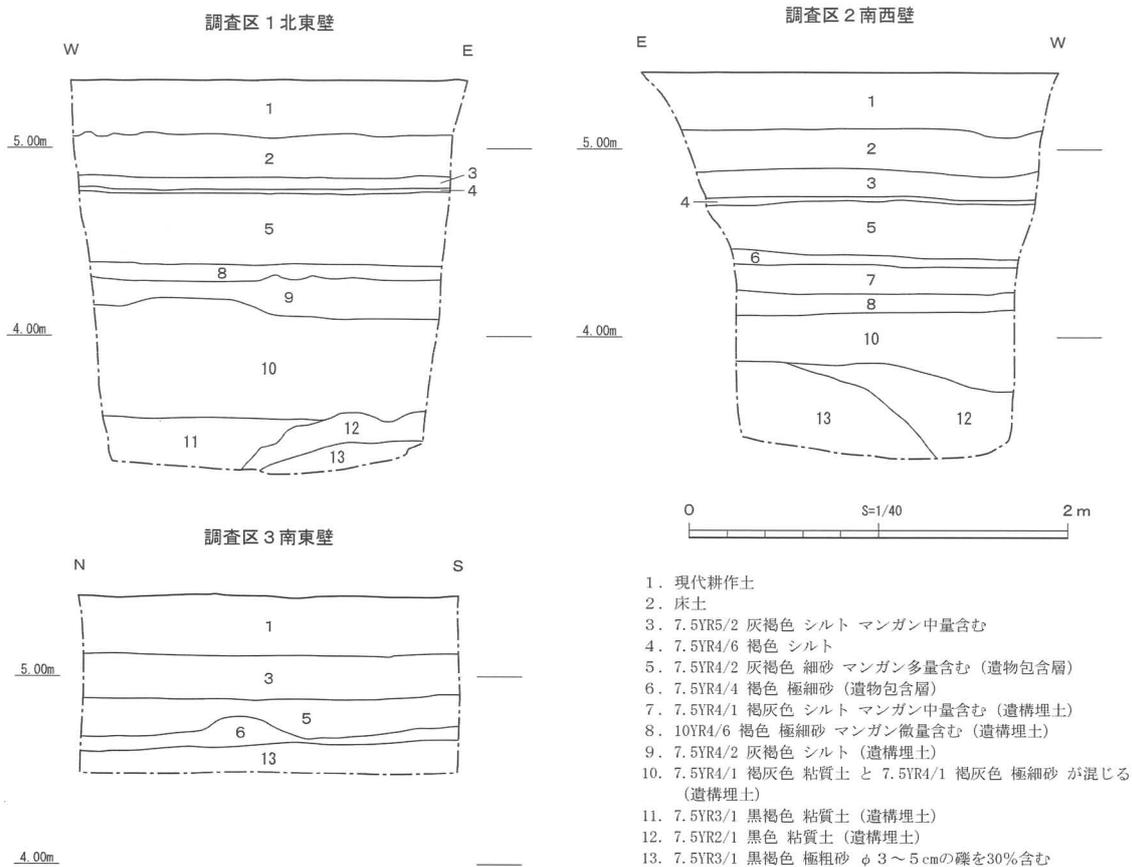


図12 調査区1～3土層断面図

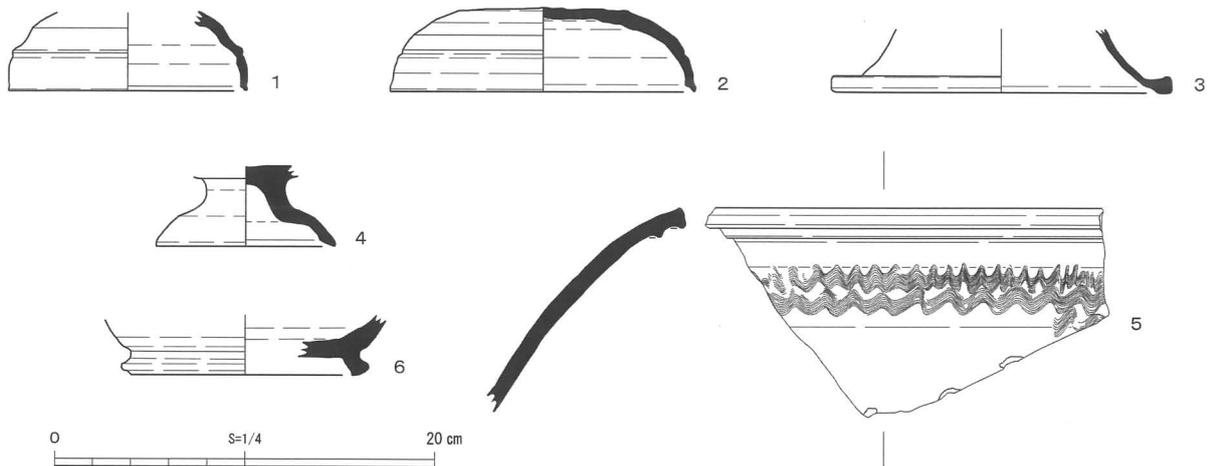


図13 出土遺物

3 まとめ

当該地は弥生時代から平安時代にかけての複合遺跡である溝之口遺跡のほぼ中央に位置しており、平成21年度の隣接地の確認調査において土坑や性格不明の落ち込みが検出され、落ち込みから土師器、須恵器が出土しているため、関連のある遺構・遺物の検出を予想した。

調査の結果、地表下0.6m前後で遺物包含層に達し、土師器と須恵器が多く出土した。土器のなかには比較的形のよく残った須恵器もあった。調査区1・2は、地表下1.0m前後で褐灰色シルト層（第7層）及び褐色極細砂層（第8層）となり、その下第12層までは堆積の状況から大型の溝や自然流路に伴う遺構埋土と考えられるが、埋土が調査区全域に及んでいるため平面形は不明である。調査区3にはこれらの土層が存在せず、地表下0.8mで地山面に至るため、調査地北西に向けて急激に落ち込んでいると考えられる。平成21年度に検出した遺構との関連は不明であるが、調査地を南北に縦断する流路あるいは溝の存在が想定される。

今回の調査では、隣接地の調査よりも古い時代のものが多く見つかったが、溝之口遺跡によくみられる弥生時代のはみられなかった。遺跡の性格を明らかにするためにも周辺の調査を継続していく必要がある。（浅井）

参考文献

岡本一士・山田郁子・山本祐作編 1992『溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅰ』加古川市文化財調査報告10 加古川市教育委員会

山中リュウ編 2018『溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅳ・美乃利遺跡発掘調査報告書Ⅰ』加古川市文化財調査報告29 加古川市教育委員会



写真15 調査区1完掘状況（北西から）



写真16 調査区1土層堆積状況（南西から）



写真17 調査区2土層堆積状況（北東から）



写真18 調査区3土層堆積状況（北西から）



写真19 調査区1 遺構埋土出土遺物 1



写真20 調査区1 遺構埋土出土遺物 2

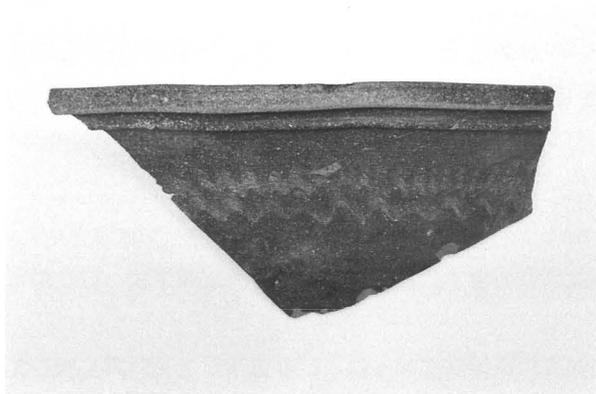


写真21 調査区2 包含層出土遺物

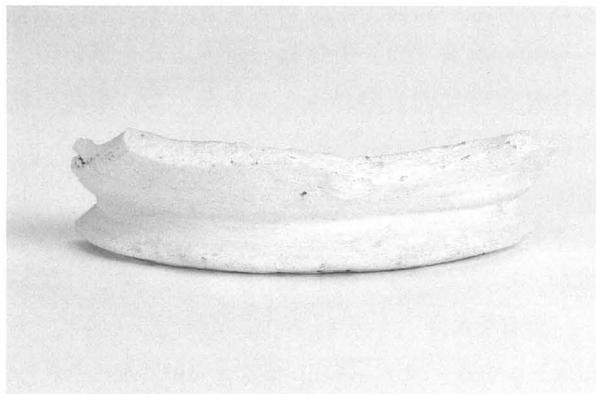


写真22 調査区3 包含層出土遺物



写真23 調査区1 出土遺物 (左：包含層、右：遺構埋土)

調査報告 4 東沢 4・5号墳 確認調査報告

調査場所 加古川市八幡町上西条地内
調査期間 平成29(2017)年10月30日～12月6日
調査面積 84㎡
担当者 西岡巧次・平尾英希

1 調査に至る経緯

近年、加古川市八幡町中西条・上西条・下村地区では雁戸井地区ほ場整備事業が継続的に進められており、これに伴って加古川市教育委員会では埋蔵文化財調査を実施している。今回確認調査を実施した場所はほ場整備事業の第2-1工区にあたる(図14)。

当該地には古墳の可能性が考えられる天王山遺跡が分布し、またその南側の斜面に古墳状の高まりが存在することが指摘されていたものの、その詳細は不明であった。そこで平成29年5月30日に分布調査を行い、現況を確認した。その結果、高畦畔法面の周辺に1.0m前後を測る石材がいくつか露頭している状況が観察されたため、天王山遺跡は埋葬施設に横穴式石室をもつ古墳であると推測された。また、南側の古墳状の高まりについても古墳である可能性が高いという結論に至った。その後、周辺に分布する東沢古墳群(西口2011)などを勘案して、天王山遺跡については「東沢4号墳」に名称変更を行い、南側のものについては「東沢5号墳」として埋蔵文化財包蔵地の変更を兵庫県教育委員会に報告した。

包蔵地の変更報告後、兵庫県教育委員会から包蔵地の範囲変更通知を受け、さらに古墳の範囲を明らかにするための確認調査を実施した。なお、東沢4・5号墳の確認調査とともに、近接するほ場整備事業対象地において試掘調査も実施したが、ここでは東沢4・5号墳の調査成果のみ報告する。

2 調査の結果

まず、確認調査の実施にあたり、東沢4・5号墳周辺の簡単な地形図を平板測量によって作成した。その結果、東沢4号墳は、かつての農地造成の際に大きく削平されたものとみられ、旧状を保っておらず、墳丘に関する情報は得られなかった。しかし、高畦畔法面の周辺で露頭している石材がおおむね北西方向から南東方向にかけて広がることから、石室の主軸も同じ方位を指向しているものと推定された。一方の東沢5号墳については、東沢4号墳の南側約20mの傾斜面に立地する東西一辺約12mの隅丸形状の古墳と推測された。

これらの成果をもとにして、東沢4号墳の石室主軸を基準に計3箇所の調査区を設定して確認調査を実施した(図15・16)。以下、調査区ごとにその成果を述べていく。

調査区1 4号墳の主軸と直交するように北東方向に設定した長さ10m、幅2mの調査区である。推定の石室主軸から約7.5m北東側において北西-南東方向の溝1条が検出された。一部サブトレンチを設定して下層を確認した結果、幅約2.7m、深さ約0.5mであった。北東側では明黄褐色粘質土(地山)から掘り込まれているのに対して、石室側では墳丘盛土と考えられる褐色粘質土(第11層)及び明褐色粘質土(第12層)が確認された。そのため、この溝は4号墳の周溝の一部である可能性が高いが、その場

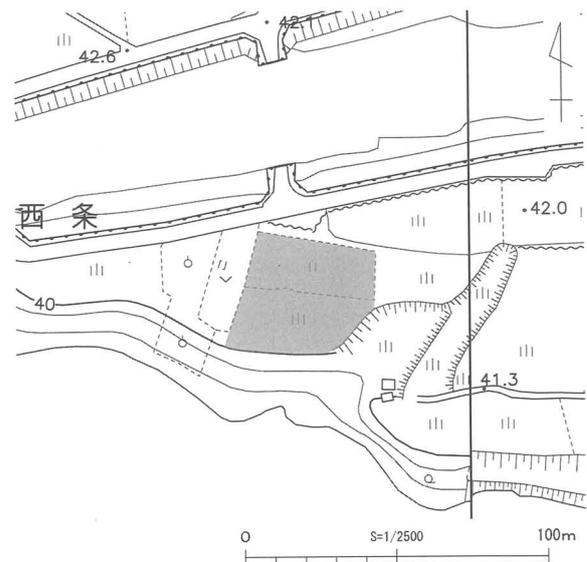


図14 調査位置図

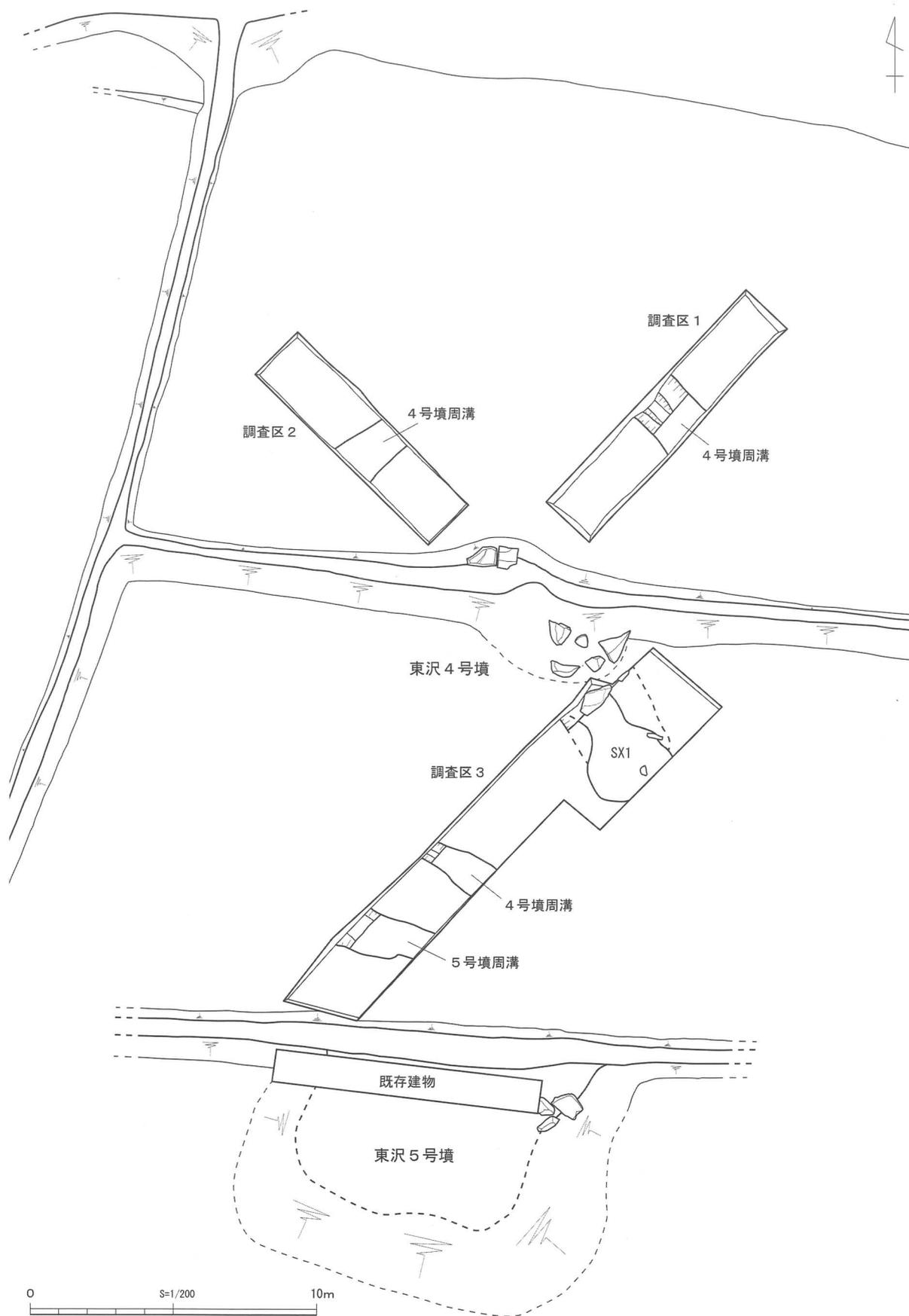
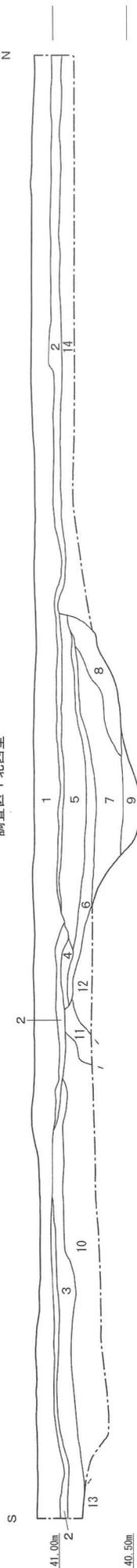


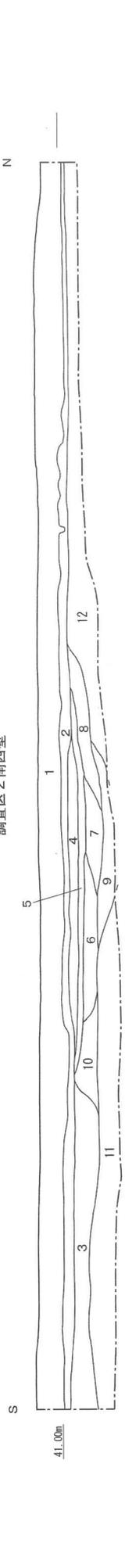
図15 調査区配置図・平面図

調査区1 北西壁



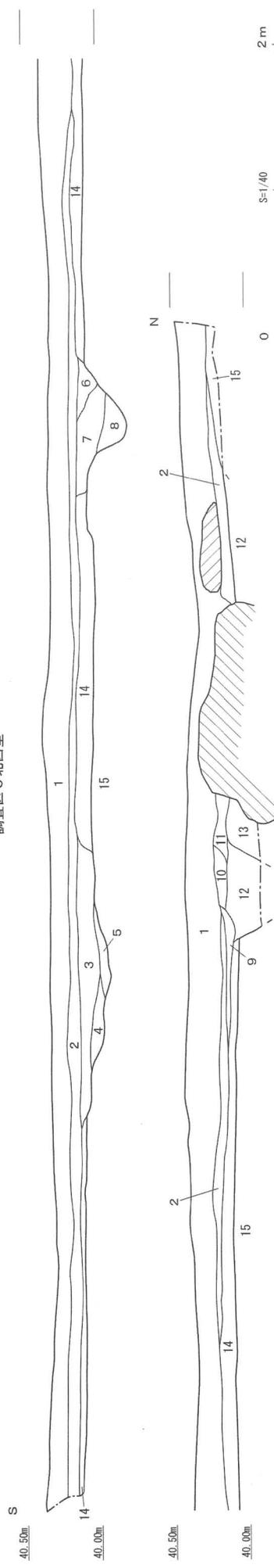
- 1. 7.5YR3/4 暗褐色 極細砂 (耕作土)
- 2. 7.5YR4/6 褐色 シルト (床土)
- 3. 2.5Y4/6 オリーブ褐色 粘質土~シルト マンガン少量含む
- 4. 10YR4/6 褐色 粘質土~シルト (溝埋土)
- 5. 7.5YR5/8 明褐色 粘質土~シルト φ50mm前後の礫を5%含む (溝埋土)
- 6. 7.5YR5/3 にぶい褐色 粘質土 (溝埋土)
- 7. 5YR5/8 明赤褐色 粘質土 φ10~50mm前後の礫を20%含む (溝埋土)
- 8. 5YR4/8 赤褐色 粘質土 (溝埋土)
- 9. 7.5YR3/2 黒褐色 粘質土 (溝埋土)
- 10. 7.5YR5/8 明褐色 粘質土 (墳丘盛土)
- 11. 7.5YR4/6 褐色 粘質土 (墳丘盛土)
- 12. 7.5YR5/8 明褐色 粘質土 (墳丘盛土)
- 13. 2.5YR5/8 明赤褐色 粘質土と7.5YR8/2 灰白色 粘質土が混じる (墳丘盛土)
- 14. 2.5YR6/8 明黄褐色 粘質土 φ50mm前後の礫を50%含む (地山)

調査区2 南西壁



- 1. 7.5YR3/4 暗褐色 極細砂 (耕作土)
- 2. 7.5YR4/6 褐色 粘質土~シルト マンガン少量含む (床土)
- 3. 2.5Y4/6 オリーブ褐色 粘質土~シルト マンガン多量含む
- 4. 10YR5/8 黄褐色 粘質土~シルト マンガン少量含む (溝埋土)
- 5. 7.5YR5/3 にぶい褐色 粘質土 (溝埋土)
- 6. 10YR5/8 黄褐色 粘質土 (溝埋土)
- 7. 7.5YR5/8 明褐色 粘質土 φ30~50mm前後の礫を30%含む (溝埋土)
- 8. 10YR4/6 褐色 粘質土 (溝埋土)
- 9. 7.5YR5/4 にぶい褐色 粘質土 (溝埋土)
- 10. 10YR5/6 黄褐色 粘質土 炭化物少量含む (墳丘盛土)
- 11. 7.5YR5/8 明褐色 粘質土 (墳丘盛土)
- 12. 2.5YR5/6 黄褐色 粘質土 (地山)

調査区3 北西壁



- 1. 7.5YR3/4 暗褐色 極細砂 (耕作土)
- 2. 10YR7/6 明黄褐色 粘性砂質土 (床土)
- 3. 10YR6/6 明黄褐色 粘性砂質土 (溝埋土)
- 4. 5Y7/6 黄色 粘性砂質土 (溝埋土)
- 5. 5Y7/8 黄色 粘性砂質土 (溝埋土)
- 6. 2.5Y7/6 明黄褐色 粘性砂質土 (溝埋土)
- 7. 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘質土 (溝埋土)
- 8. 5Y7/4 浅黄色 粘性砂質土 (溝埋土)
- 9. 2.5Y7/4 浅黄色 粘性砂質土
- 10. 2.5Y7/4 浅黄色 粘性砂質土 赤色粘質土混じり
- 11. 2.5Y5/6 黄褐色 砂質土
- 12. 10YR6/4 にぶい黄褐色 粘性砂質土 赤褐色粘質土混じり
- 13. 10YR6/6 明黄褐色 砂質土
- 14. 2.5Y7/8 黄色 粘性砂質土 (地山)
- 15. 5Y8/8 黄色 砂質粘質土 (地山)

図16 調査区1~3土層断面図

合、既述した計測値は本来の規模ではないことに注意を要する。調査区1から遺物は出土しなかった。調査区2 4号墳の主軸と平行するように北西方向に設定した長さ8m、幅2mの調査区である。周辺で露頭している石材のうち、最も北西側に位置するものから約4.5m北西側において北東-南西方向の溝1条が検出された。サブトレンチなどによる下層確認を行っていないため、その深さの正確な数値は不明であるものの、幅約2.9m、深さ約0.3m以上を測る。調査区1の溝と同様に、北西側では黄褐色粘質土（地山）から掘り込まれているのに対して、石室側では墳丘盛土とみられる黄褐色粘質土（第10層）及び明褐色粘質土（第11層）が確認された。この溝についても4号墳の周溝である可能性が高い。調査区2から遺物は出土しなかった。

調査区3 4号墳の主軸と直交するように、4号墳と5号墳の間に設定した調査区である。4号墳の石室開口部とみられる北東側は長さ6m、幅4mとし、これに続く南西側は長さ12m、幅2mとした。

調査区北東側では、黄色粘性砂質土（第14層）と黄色砂質粘質土（第15層）の地山面において、長径4.2m以上、短径約3.0mの性格不明遺構1基（SX1）が検出された。平面的に遺構の輪郭を明確にすることはできなかったが、北西壁沿いに設定したサブトレンチで下層を確認したところ、にぶい黄橙色粘性砂質土（第12層）と黄褐色砂質土（第13層）の埋土が確認された。埋土には石室の石材片とみられる石材が散見されるとともに須恵器片が含まれていたため、石室の損壊に伴う攪乱の可能性がある。

一方の調査区南西側では、北西-南東方向の溝2条が検出された。一部サブトレンチを設定して下層を確認したところ、いずれも黄色粘性砂質土（第14層）の地山面から掘り込まれており、北側の溝は最大幅約1.3m、深さ約0.3m、南側の溝は最大幅約2.0m、深さ約0.2mを測る。それぞれの検出位置から北側の溝は4号墳の周溝、南側の溝は5号墳の周溝である可能性が高い。遺物は4号墳の周溝と考えられる溝埋土から須恵器片が出土した。

3 まとめ

確認調査の結果、調査区1・2において東沢4号墳の周溝とみられる溝が検出されるとともに、調査区3において東沢4・5号墳の周溝とみられる溝が検出された。また、東沢4号墳の開口部側において石室の損壊に伴うとみられる性格不明遺構1基（SX1）が検出され、須恵器片が出土した。

これまで詳しい内容がほとんどわかっていなかった東沢4・5号墳であるが、今回の調査によって墳丘などについてある程度推測できるようになった。東沢4号墳は、調査区1～3において検出された溝から直径または一辺16m前後の円墳または方墳と推測され、埋葬施設は横穴式石室と考えられる。一方、東沢5号墳については、地形測量によって観察された傾斜変換点や調査区3で検出された溝から一辺11～12m前後の方墳と推測されるが、現状ではどのような埋葬施設をもつのか不明である。

各古墳の築造時期については、出土遺物がいずれも須恵器の小破片であったため細かく特定することはできないものの、周辺に分布する東沢2・3号墳と立地や墳丘などが類似すること、東沢4号墳の周溝とみられる溝や性格不明遺構（SX1）から須恵器片が出土したことなどから、東沢2・3号墳の築造時期である6世紀後半頃と相前後する時期に築造されたと考えておきたい。

今回の調査によって得られた情報は十分とはいえないが、東沢古墳群は古墳時代中期の古墳1基（東沢1号墳）と後期の古墳4基（東沢2～5号墳）の計5基の古墳から構成されることが明らかとなった。

なお、この報告は平成29年度に埋蔵文化財専門員の西岡巧次（平成30年度末退職）が作成した報告をもとに平尾が執筆したものである。 (平尾)

参考文献

西口圭介 2011『東沢古墳群・東沢中遺跡』兵庫県文化財調査報告第389冊 兵庫県教育委員会



写真24 東沢4号墳調査前状況（北西から）



写真25 東沢4号墳石材露頭状況（南東から）



写真26 調査区1溝検出状況（南東から）



写真27 調査区1溝土層堆積状況（南から）



写真28 調査区2溝検出状況（東から）



写真29 調査区2溝土層堆積状況（北東から）



写真30 調査区3遺構検出状況（南西から）



写真31 調査区3 S X 1 検出状況（南から）



写真32 調査区3北側溝検出状況（南東から）

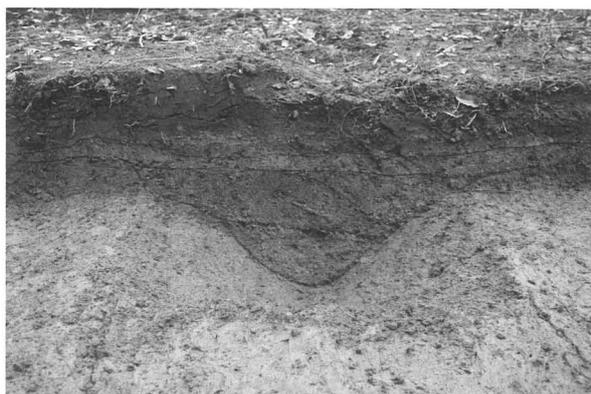


写真33 調査区3北側溝土層堆積状況（南東から）



写真34 調査区3南側溝検出状況（西から）



写真35 調査区3南側溝土層堆積状況（南東から）

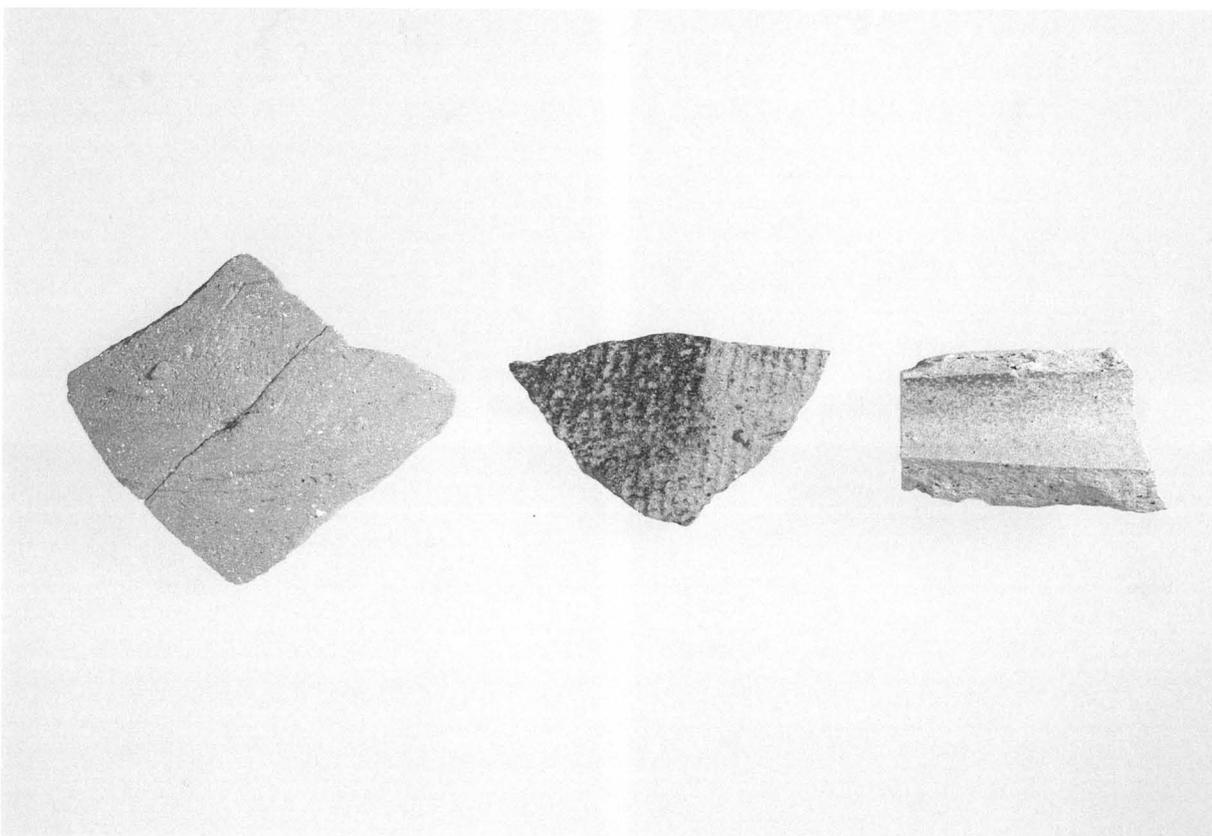


写真36 調査区3出土遺物（左2点：SX1、右1点：北側溝）

調査報告 5 元北在家道標 概要調査報告

加古川町粟津在住の個人から、自宅に「きたざいけ」と記す道標があることの情報提供を受けて、個人所有の道標の概要調査を行ったので、以下のとおり報告する。

- 1 資料名称 元北在家道標（個人所有）
- 2 調査日時 平成29（2017）年 4 月 24 日 午前10時30分から午後10時45分まで
- 3 調査場所 加古川町粟津599番12
- 4 調査担当者 宮本佳典（加古川市教育委員会文化財調査研究センター副所長、学芸員）
平尾英希（学芸員）
- 5 立会者 所有者（富森彦正氏）
- 6 調査理由 所有者からの情報提供
- 7 報告内容

調査方法は、聞き取り、目視による観察、測定及び簡単な写真撮影である。

調査の結果の要点は、以下のとおりである。

- ①名称 元北在家道標（元の所在地は不明であるが、銘文の内容から北在家集落付近にあったと考えることができるため、この名称とした。）
- ②所有者 富森彦正氏
- ③数量 1基
- ④現況
 - ・頂部をやや丸く、正面を平面に整形し、その他の面を粗く整形した切石の角柱型の道標である。
 - ・全体に経年による劣化が進んでおり、下部が折れて欠損している。銘文部分は磨滅しているが判読できるものである。
- ⑤材質 凝灰岩（竜山石）製
- ⑥時代 類例から、19世紀中頃（江戸時代末期）の可能性が考えられるが、不詳である。
- ⑦法量 現高57.5cm、幅19.6cm、奥行11.6cm ※いずれも最大値
- ⑧記事
 - ・正面に2行で「右 き多ざいけみち、左 とう多お能へ多可さご」の銘文が丸みを帯びた書体で陰刻されている。関連する古文書及び伝承などなし。
 - ・内容は、「右 北在家道、左、刀田、尾上、高砂」を意味している。「とうた（刀田）」は刀田山鶴林寺、またはその所在地のことである。

⑨調査記録

ア 聞き取り内容

- ・所有者は、この道標が地域で保存活用されることを希望しており、詳しいことを『加古川の道標を訪ねて』（加古川市文化振興公社（加古川総合文化センター）、2003年）などで調べようとしたが、銘文が読めなかったため、加古川市教育委員会文化財調査研究センターに連絡したということであった。
- ・所有者によると、「この道標は、加古川の南本町のお風呂屋の近くにあった古物商から昭和50年代前半頃に入手したものである。そのほかのことはわからない。」ということであった。
- ・現地調査終了後、沼田好博（文化財調査研究センター所長）が北在家地区の古老2名に、この道標及び所在地について聞き取りを行ったが、情報を得ることはできなかった。

イ 表面観察内容

- ・道標の石材は、この地域によく見られる淡黄色の凝灰岩（竜山石）で、表面に淡赤色に見える部分がある。
- ・石材は切石で、頂部を丸く、正面を平面に、左右の側面をやや粗く、背面は雑に整形している。
- ・道標の下部は欠損している。欠損した部分は、地中に埋まっていた部分と推察する。
- ・銘文が陰刻されているのは正面だけで、その他の面には銘文の痕跡はない。

⑩所見 調査の結果、この道標は今まで確認されていなかったもので、現在の加古川町北在家周辺の集落に通じる道に設置されていたと考えられる。「右 北在家道、左 刀田、尾上、高砂」を意味する銘文から、北在家集落方面と鶴林寺方面を案内するためのものであることがわかる。製作年代は、江戸時代末期を中心とした時期と考えられる。

この道標は、下部が欠損しているものの、北在家及び鶴林寺周辺の往来の様子を考えるうえで貴重なものである。したがって、可能な限り地域で保存公開することが望ましいと考える。 (宮本)

参考文献

嶋谷久仁子編 2003『加古川の道標を訪ねて』財団法人加古川市文化振興公社



図17 元北在家道標現所在地及び周辺図

左面	正面	右面	背面
	左 右 とう多お能へ多可さ き多ざいけみち		
現高×幅×奥行 57.5cm×19.6cm×11.6cm			

図18 元北在家道標銘文配置図



写真37 元北在家道標

第2章 文化財の保護と活用

1 指定・登録文化財

平成30（2018）年3月31日現在、市内の指定・登録文化財は、国指定23件（国宝2件）39点、県指定32件54点、市指定67件1420点、国登録9箇所37件である（表2）。

表2 加古川市指定・登録文化財一覧

区分		種別	箇所数・件数	計		
国指定	国宝	建造物	2件	2件	23件	122件
		重要文化財	建造物	4件		
	絵画	5件				
	彫刻	6件				
	工芸品	5件				
	史跡	1件				
県指定	建造物	18件	32件			
	絵画	3件				
	彫刻	6件				
	工芸品	3件				
	書跡	1件				
	史跡	1件				
市指定	建造物	4件	67件			
	絵画	9件				
	彫刻	16件				
	工芸品	9件				
	書跡・典籍	6件				
	考古資料	15件				
	無形文化財	1件				
	民俗資料	2件				
	史跡	4件				
	天然記念物	1件				
国登録	建造物	8箇所36件	9箇所37件			
	記念物	1件				

(1) 市指定文化財の指定

文化財審議委員会にて諮問し、答申を受けた「天坊山古墳出土品一括」と「木造聖徳太子立像」の2件について、新たに加古川市指定文化財に指定した。

天坊山古墳出土品一括（巻頭図版1・2）

名称及び数量 天坊山古墳出土品一括 24点

青銅鏡2点（仿製獣形鏡 径14cm、画文帯神獸鏡片 復元径12.6cm）、銅鏃4点、鉄剣3点、鉄槍1点、鉄刀1点、鉄鏃4点、刀子1点、鑿1点、鉈1点、鉄斧2点、鉄鎌1点、棒状鉄器1点、管玉1点、土師器1点

指定分類 考古資料

時代 古墳時代前期 4世紀

所在地 加古川市平岡町新在家1224番7 加古川総合文化センター博物館

所有者 加古川市教育委員会

指定年月日 平成30（2018）年3月2日

指定理由 天坊山古墳は、上荘町小野の標高163mの山頂に所在する直径約16mの円墳で、

埋葬施設に2基の竪穴式石室をもつ古墳時代前期の古墳である。昭和43（1968）年に超音波反射塔建設工事に伴って発見され、発掘調査が行われた。

その詳細については、発掘調査報告書（『天坊山古墳』（加古川市文化財調査報告5））で報告されており、『加古川市史第4巻』にも記載されている。

この古墳の副葬品は、青銅鏡2面、鉄剣や鉄斧をはじめとする武器や農工具等の多くの鉄器等がある。これらの副葬品は、前期古墳の特徴的な性格を示すものとして注目されてきたものであり、長慶寺山古墳出土品とともに、加古川市域北東部の古墳時代前期の様相を考える上でたいへん貴重なものである。加古川市教育委員会が管理し、現在、加古川総合文化センター博物館で常設展示されている。

天坊山古墳出土品は、前期古墳の特徴的な性格を示すものとして、学術的価値の高いものである。

追 補 前述したように、天坊山古墳は直径約16mの円墳で、埋葬施設に2基の竪穴式石室をもつ古墳時代前期の古墳である。竪穴式石室は、それぞれの墓壇の切り合い状況から、第1主体、第2主体の順に構築されたことが明らかとなっており、いずれも石室内に箱形木棺が置かれていたと推定されている。また、第1主体では壮年男性と推定される人骨が出土し、石室の中央床面において朱が確認されている。

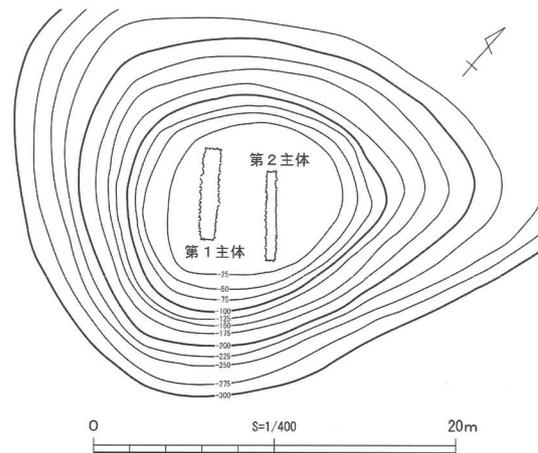


図19 墳丘
報告書第9図を一部改変のうえ再トレース

第1主体からは、仿製獣形鏡1面、銅鏃3点、鉄剣2点、鉄槍1点、鉄刀1点、鉄鏃3点、刀子1点、鑿1点、錐1点、鉋1点、鉄斧2点（短冊形鉄斧1点、袋状鉄斧1点）、直刃鎌1点、土師器壺1点が出土している。獣形鏡や鉄槍などの一部の副葬品には布痕が顕著に認められるため、その副葬にあたって布でくまられたものが存在したことが指摘されている。

一方の第2主体では、画文帯神獣鏡片1点、銅鏃1点、鉄剣1点、鉄鏃1点、鉄斧1点（袋状鉄斧1点）、不明鉄器片2点、管玉1点が出土している。

これらのものは前期古墳に特徴的な副葬品の組合せであるとともに、天坊山古墳と比較的接近した位置に所在する長慶寺山1号墳の副葬品の組合せと類似するなど、古墳時代前期における加古川右岸の様相を考えるうえで重要な資料といえる。

なお、今回の天坊山古墳出土品の市指定にあたって、一部行方のわからない資料があった。そのため、第1主体では錐1点を除いた18点、第2主体では鉄斧1点と不明鉄器片1点を除いた6点の計24点の出土品について市指定文化財の対象とした^{註1}。（平尾）

註1：市指定文化財の指定後、第1主体出土錐1点及び第2主体出土不明鉄器片1点が見つかったため、機会をみて追加指定を行う予定である。



写真38 画文帯神獸鏡



写真39 銅鏃



写真40 土師器



写真41 管玉



写真42 鉞及び鉄鏃・鏃



写真43 鉄斧・鉄鎌・刀子



写真44 鉄鏃

木造聖徳太子立像

名称及び数量	木造聖徳太子立像 1 軀
指 定 分 類	彫刻
像 高	82cm
材 質	木造彩色、寄木造、玉眼
時 代	鎌倉時代～室町時代 13～15世紀
所 在 地	加古川市加古川町北在家424 鶴林寺
所 有 者	鶴林寺
指 定 年 月 日	平成30（2018）年3月2日
指 定 理 由	鶴林寺の聖徳太子信仰の隆盛を示す本像は、聖徳太子作と伝えられ、太子の遺髪が植えられていると伝えられていることから、植え髪の太子像と呼ばれている。

玉眼を嵌入する寄木造の全身彩色の像は、中世の肖像彫刻の特徴を示し、上半身の下衣と下半身の袴以外の着衣を彫り表さず、その上に実際の衣を着せて、いわゆる孝養像とほぼ同様の姿を表す。さらに注目すべきは頭髪に実際の髪を植えつけている点である。

重要文化財の髹漆厨子の中に安置されており、もとは国宝の太子堂の中に祀られていたが、現在は、髹漆厨子とともに宝物館で保存されている。秘仏のため、通常は拝観できないが、太子会式などの特別日に開帳している。

本像は、頭部に実際の髪を植え付け、実物の上衣を着せることを想定し下衣だけを彫出表現した聖徳太子像として特異性を示すもので、彫刻史上意義があるものである。

追 補 本像は、この後、平成31年3月12日に兵庫県指定文化財になっている。（宮本）



写真45 木造聖徳太子立像（正面）

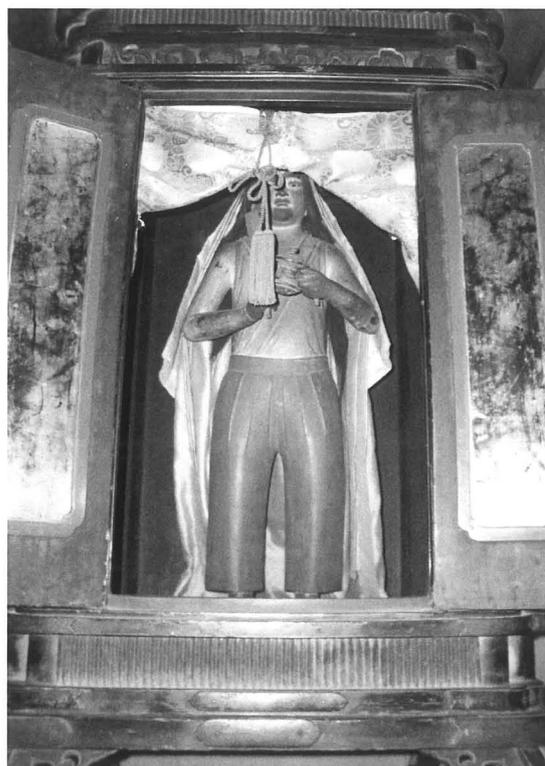


写真46 木造聖徳太子立像安置状況

2 市内遺跡事業（国庫補助事業）

国の文化財補助金事業として、市内遺跡などについて埋蔵文化財の記録の作成または保存に必要な資料を得るために行う発掘調査及び発掘された資料の保存整理などを行う事業を実施した。内容は、開発に伴う本発掘調査、確認調査、試掘調査、分布調査である（第1章参照）。事業費4,200千円（国費2,100千円、県費1,050千円）。

3 鶴林寺防災設備保守点検事業（県費補助事業）

県の文化財補助金事業として、指定文化財保守管理のための自動火災報知機、消火栓設備の保守点検が鶴林寺によって行われた。事業費696千円（県費286千円）。

4 指定文化財保存管理補助

公開している指定文化財である「鶴林寺の指定文化財」（鶴林寺）、「宮山遺跡」（上西条町内会）、「北大塚古墳」（西之山町内会）、「築山の榎」（国包伊勢講）の指定文化財保存管理事業に対して補助を行った。事業費640千円（補助額320千円）。

5 文化財説明板及び標柱の状況

市内文化財についての情報発信、周知徹底のため、文化財の説明板及び標柱の設置を行っている。平成29（2017）年度は、下記のとおり説明板の立替え（3件）、標柱の新設（4件）及び立替え（2件）を行った。平成29年度末時点での設置状況は、説明板179件と標柱159件である。

説明板の立替え	3件	「長砂構居跡」 ^{註1} 、「北在家遺跡」、「中津中条墓地の十王石像」
標柱の新設	4件	「常楽寺の石棺（蓋）」、「四尊石仏」、「石造十三重塔」、「六地藏石仏」
標柱の立替え	2件	「正岸寺の石棺仏」 ^{註2} 、「長砂墓地の五輪塔」 ^{註2}

註1：説明板立替えの際、旧説明板横に設置されていた標柱「長砂構居跡」も著しく劣化していたため、併せて撤去した。

註2：「正岸寺の石棺仏」と「長砂墓地の五輪塔」については、説明板から標柱への立替えである。

6 本岡家住宅の公開及び活用

平成10（1998）年に八幡町下村から東神吉町天下原の少年自然の家の敷地内に移築保存された県指定有形文化財本岡家住宅については、事前に見学の予約を受けたうえで、水曜日の午前10時と午後2時、日曜日の午後2時に見学者を受け入れている。また、少年自然の家の無料散策日にも公開を行っている。

毎年、5月5日のこどもの日に「こどもの日特別公開」を行っているほか、11月下旬のひょうごヘリテージマンスに合わせて「秋の特別公開」を行っている。平成29年度の「秋の特別公開」は、11月24日から11月30日まで実施した。

平成29年度の本岡家住宅の利用状況は、表3のとおりである。前年度比は1,004人の減であった。



写真47 本岡家住宅「秋の特別公開」

表3 本岡家住宅月別利用者数一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数(人)	55	858	30	20	5	6	11	169	125	30	30	50	1,389

7 加古川市文化財講座の開催

市民に加古川地域の歴史や文化財について理解を深めてもらい、文化財保護意識の高揚を図るため、毎年秋季に文化財講座を開催している。

平成29年度の文化財講座の開催状況は以下のとおりである。

第1回文化財講座

日 時：11月5日（土） 午後2時から午後4時まで

場 所：加古川市立青少年女性センター 大会議室

講 師：藤井康隆氏（名古屋市博物館学芸員）

演 題：「行者塚古墳の豊かな副葬品～帯金具を中心に～」

参加者：77名

第2回文化財講座

日 時：11月18日（土） 午後2時から午後4時まで

場 所：加古川市立青少年女性センター 大会議室

講 師：一瀬和夫氏（京都橘大学大学院文学研究科教授）

演 題：「墳丘からみた西条古墳群」

参加者：65名

第3回文化財講座

日 時：12月2日（土） 午後2時から午後4時まで

場 所：加古川市立青少年女性センター 大会議室

講 師：菱田哲郎氏（京都府立大学文学部歴史学科教授）

演 題：「5世紀の倭と西条古墳群」

参加者：80名



写真48 文化財講座開催状況

8 発掘調査現地説明会の開催

民間開発の駐車場進入路建設工事に伴う石町中世墓の発掘調査において、事業者の協力のもと、平成29年9月27日（水）に現地説明会を実施した。地元住民をはじめとする43名の参加があった。

現地説明会は発掘調査中の遺跡を見学できる唯一の機会であるとともに、地域の歴史や文化財について知ってもらう絶好の場でもあるため、今後も可能な限り実施していきたい。



写真49 石町中世墓現地説明会

9 『文化財ニュース』の発行

市内の文化財の状況を伝えるとともに市民の文化財保護意識の高揚を図るため、年に1回『文化財ニュース』を発行し、市内全戸配布している。平成29年度は『文化財ニュース』61号を発行した。

なお、バックナンバーを含めてこれまで発行してきた『文化財ニュース』は、加古川市のホームページで閲覧可能である。

10 『文化財解説シート』の発行

平成21(2009)年度から平成23(2011)年度の緊急雇用対策文化財資料整理事業の一環で作成していた市内文化財を個別解説した『文化財解説シート』について、平成29年度から作成を再開した。加古川市立中央図書館2階において無料配布しているほか、加古川市のホームページで閲覧可能である。

平成29年度は以下の文化財についての『文化財解説シート』を発行した(図20)。

通番13号(考古資料1) 東車塚古墳の三角縁神獣鏡ほか

通番14号(考古資料2) 伝勅使塚古墳の三角縁神獣鏡

通番15号(石造美術13) 報恩寺の四尊石仏

通番16号(石造美術14) 常楽寺の十三重塔



図20 平成29年度発行『文化財解説シート』一覧

11 文化財関係団体との連携

「加古川市文化財保護協会」、「加古川文化遺産活性化実行委員会」、「加古川市文化財ガイドボランティア」など、文化財の保護または活用を行っている諸団体の活動に対し、必要に応じて協力している。

12 寄贈資料などの受入れ

平成29年度は、表4のとおり寄贈資料などの受入れを行った。

表4 寄贈資料などの受入れ一覧

番号	区分	受入日	依頼者	資料の名称	数量
1	資料寄贈	平成29年7月5日	個人	加古川市内採集石器類	遺物収納箱 1箱
2	資料返却	平成29年9月27日	個人	カンス塚古墳調査出土鉄刀	2点
		平成30年3月14日		カンス塚古墳調査関連写真及びフィルム	1式

13 資料の貸出し、写真資料の貸出し及び掲載承諾

平成29年度は、表5のとおり資料の貸出し、写真資料の貸出し及び掲載を承諾した。

表5 資料貸出し、写真資料の貸出し及び掲載承諾一覧

番号	区分	期間	資料の名称	数量	依頼者	目的
1	貸出し	平成29年3月27日 ～ 平成29年7月7日	行者塚古墳出土帯先金具	1点	大阪歴史博物館	特別展「渡来人いづこより」での展示
			行者塚古墳出土鉄鋌	1点		
			行者塚古墳出土巴形銅器	2点		
			カンス塚古墳出土金製垂飾付耳飾	1点		
			砂部遺跡出土甌	1点		
2	貸出し	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日	溝之口遺跡出土弥生土器	6点	明石市立文化博物館	常設展での展示
3	貸出し	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日	行者塚古墳発掘調査図面・写真	1式	大手前大学史学研究所	行者塚古墳発掘調査資料の整理
			行者塚古墳出土埴輪	1式		
4	貸出し	平成29年4月25日 ～ 平成29年5月24日	合図燈	1点	加古川市立松風ギャラリー	美術展「写真展ありし日の別府鉄道」での展示
			車掌鞆	1点		
			制帽	1点		
			作業帽	1点		
			切符定期券	1点		
			改札用パンチ	1点		
			車掌用パンチ	1点		
5	貸出し	平成29年7月6日 ～ 平成29年9月30日	古大内遺跡出土軒丸瓦	3点	兵庫県立考古博物館	古代山陽道の調査研究事業
			古大内遺跡出土軒平瓦	3点		
			古大内遺跡出土平瓦	1点		
			野口廃寺出土軒丸瓦	1点		
			野口廃寺出土軒平瓦	2点		
6	掲載承諾	平成29年7月11日	行者塚古墳関連写真	1点	兵庫県立考古博物館	ホームページ「まるごとミュージアム」への掲載
7	貸出し・掲載承諾	平成29年7月30日 ～ 平成29年8月27日	加古川まつり花火大会関連写真	19点	加古川市産業経済部観光振興課（加古川市民ギャラリー）	「加古川まつり花火大会のウラガワ展」での展示
8	貸出し	平成29年8月30日 ～ 平成29年10月11日	胴丸籠	3点	加古川総合文化センター	特集展示「昔の漁師の道具箱」での展示
			うなぎ搔き	1点		
			網糸	1点		
			錨	1点		
			すまる	2点		
			はまぐり搔き	1点		
			あさり搔き	1点		
			もんどり	3点		
			蛸壺	2点		
9	貸出し・掲載承諾	平成29年9月1日 ～ 平成29年12月26日	行者塚古墳関連写真	6点	群馬県立歴史博物館	企画展「海を渡って来た馬文化－黒井峯遺跡と群れる馬－」での展示、印刷物等への掲載
			行者塚古墳出土鎌轡（復元品）	1点		
			行者塚古墳出土円形鏡板付轡（復元品）	1点		
			行者塚古墳出土長方形鏡板付轡	1点		
10	貸出し・掲載承諾	平成29年9月29日 ～ 平成29年12月22日	行者塚古墳関連写真	4点	きつき城下町資料館	企画展「水の願い・神への祈り－御塔山古墳とその時代－」での展示、印刷物等への掲載
			行者塚古墳関連写真フィルム	6点		
11	掲載承諾	平成29年11月28日	行者塚古墳関連写真	4点	雄山閣	『阿倍氏の研究』への掲載
12	貸出し	平成29年12月1日 ～ 平成30年2月12日	丸火鉢	1点	加古川総合文化センター	常設展「昔の道具探索隊」での展示
			安全炬燵	1点		
			豆炭アンカ	1点		
			アンカ	1点		
			(糸) 粹	1点		
			座繰り	1点		
13	貸出し	平成29年12月1日 ～ 平成30年2月12日	菓子木型	9点	加古川総合文化センター	特集展示「めでたい菓子木型」での展示
			石膏型取り	1点		
			大福帳	1点		

14 資料調査などの受入れ

平成29年度は、表6のとおり資料調査などの受入れを行った。

表6 資料調査など受入れ一覧

番号	年月日	調査者	所属	資料		目的
				遺跡	遺物	
1	平成29年4月8日	個人(約10名)	神戸市教育委員会ほか	溝之口遺跡 美乃利遺跡	弥生土器 弥生土器	学術研究
2	平成29年5月23日	個人	群馬県立歴史博物館	行者塚古墳	鍔轆(復元品) 円形鏡板付轆(復元品) 長方形鏡板付轆	特別展準備
3	平成29年5月24日	個人	-	東車塚古墳	方格T字鏡	論文執筆
4	平成29年6月1日	個人	鳥根県教育庁	升田山15号墳	水晶製三輪玉 ガラス製丸玉 ガラス製小玉 金糸 須恵器	学術研究
5	平成29年7月21日	個人	東広島市教育委員会	古大内遺跡	軒平瓦	学術研究
6	平成29年7月28日	個人	杵築市教育委員会	行者塚古墳	冪形埴輪 盾形埴輪	特別展準備
7	平成29年9月27日	個人	-	白沢2号窯	須恵器	学術研究
8	平成29年9月28日	個人(2名)	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	行者塚古墳	帯金具	学術研究
9	平成29年10月2日	韓国放送公社(KBS)		行者塚古墳 カンス塚古墳 池尻2号墳	鉄鋌ほか 金製垂飾付耳飾ほか 須恵器ほか	テレビ番組取材
10	平成29年12月7日	個人	奈良大学	行者塚古墳	土製模造品	論文執筆
11	平成30年2月17日	個人(2名)	韓国釜慶大学校	行者塚古墳	帯金具	学術研究

15 講師の派遣など

市民に地域の歴史や文化財についての理解を深めてもらい、また文化財保護意識の高揚につながるよう、文化財に係る講演会、見学会などの事業に対して講師の派遣などを行っている。

平成29年度は、表7のとおり講師の派遣などを行った。

表7 講師派遣など一覧

番号	年月日	派遣職員	派遣先	内容
1	平成29年4月26日	平尾英希	神野小学校	行者塚古墳の解説
2	平成29年4月30日	山中リュウ	加古川総合文化センター	現地解説「史跡めぐり-西条古墳群-」
3	平成29年6月3日	宮本佳典	野口公民館	講演「教信寺を中心に野口町の文化財」
4	平成29年11月28日	沼田好博	陵南公民館	本岡家住宅の現地解説
5	平成30年1月9日	宮本佳典	いなみ野学園	講演「東播磨の仏教説話」

16 「トライやる・ウィーク」の受入れ

兵庫県では、平成10(1998)年度から公立中学校2年生を対象に、生徒たちが地域での様々な体験活動を通じて働くことの意義や楽しさを実感するとともに、生徒の自主性や自立性等を育むことを目的とした「トライやる・ウィーク」を実施している。

文化財調査研究センターではその実施当初から生徒の受入れを行っており、平成29年度は6月5日から9日までの5日間、加古川市立平岡中学校の生徒2名を受け入れた。体験内容は、博物館施設等の見学、古墳や寺社仏閣などにおける文化財巡視、本岡家住宅の清掃、土器の洗浄や接合、拓本といった埋蔵文化財の資料整理などである。(平尾)

第3章 歴史文化基本構想策定事業

1 概要

文化財保護行政、観光振興行政、まちづくり行政を進めていくなかで、地域の歴史文化を資源として考え、その保存と活用を図るための基本計画としての「加古川市歴史文化基本構想」を策定するために、平成29（2017）年度から平成31（2019）年度までの3か年計画で、歴史文化基本構想策定事業の取組みを始めた。

この事業の契機となったのは、加古川市の文化財保護行政を進めるなかで、文章として整理された方針が必要であると考えられていたなか、加古川市の歴史文化関係団体で組織する加古川市文化遺産活性化実行委員会から、国の補助を受けて事業を行うなかで、地域全体としての歴史文化の取組みのあり方を示す基本となる構想のようなものが必要であることを求められたことが大きかったといえる。そのほか、県からの薦め、周辺市町の策定状況、先進都市の活動状況などを総合的に考えて実施した事業である。

2 事業内容

初年度である平成29年度は、構想を策定するための基礎調査を行うとともに、素案を作成した。

事前把握として、過去に発行した『加古川市史』、埋蔵文化財調査報告書、博物館特別展展示図録、郷土史文献及び市内の集落の歴史並びに観光資源などに関する基礎的なデータを把握し、整理・確認を行った。また、現状の文化財保護施策を把握するとともに、他部局などで作成した資料で、自然的環境、社会的状況などの市の基本情報を整理した。さらに、鶴林寺鬼追い保存会など、地域住民が主体となって行っている文化財の保護活動についての状況を把握するとともに、播磨石造美術研究会、東播磨地域史懇話会及び加古川史学会など、地域住民が主体となって行っている文化財の研究・保護活動についての状況を把握した。これらを整理し、平成30（2018）年度の策定委員会での議論の叩き台となる「加古川市歴史文化基本構想素案」の作成にあたっては、株式会社スペースビジョンに作成支援業務を委託した。

「調査事業」として、事前把握の結果、過去の調査の時から新たに確認されたもののほか、変更または消滅した文化財などの歴史文化事項を確認し、整理した。また、中世の石造品の詳細調査を実施するとともに、これまで文化財として調査などを行っていなかった祭礼などの民俗行事の現状調査を実施し、整理した。これらの調査については、上月昭信氏（加古川市文化財審議委員）に中心となって実施していただいた。

なお、関係団体・機関である加古川文化遺産活性化実行委員会、加古川市文化財保護協会、加古川観光協会、加古川市文化財審議委員会、そして行政では、担当部署である加古川市教育委員会文化財調査研究センター、関係部署である加古川市ウェルネス推進課、観光振興課、都市計画課、加古川市教育委員会社会教育・スポーツ振興課が、加古川市歴史文化基本構想策定準備会として、基本構想案の作成準備のための意見交換及び情報収集などを行った。

3 決算

収支の部	4,501,958円	
内 訳	3,193,000円（国庫補助金、文化芸術振興費補助金、文化遺産総合活用推進事業）	
	1,308,958円（加古川市自己負担金）	
支出の部	4,501,958円	
主要内訳	3,648,240円（加古川市歴史文化基本構想策定に係る基礎調査業務委託）	（宮本）

第4章 文化財審議委員会

1 委員

加古川市文化財の保護に関する条例に基づき、文化財の保存及び活用について審議するための附属機関として文化財審議委員会を設置している。平成29（2017）年度の各委員の氏名、主な専門分野、所属は以下のとおりである。

委員長	茂渡俊慶	仏教文化、地域史	鶴林寺住職
副委員長	金子 哲	歴史学、中世史	兵庫大学共通教育教授
委員	魚津知克	考古学、歴史学	大手前大学史学研究所主任
委員	上月昭信	考古学、郷土史	兵庫県文化財保護指導委員
委員	友久伸子	考古学、郷土史	兵庫県まちづくり技術センター整理技術嘱託員
委員	岡田 功	郷土史、歴史資料	加古川史学会
委員	東野アドリアナ	建築学、建造物	明石工業高等専門学校准教授
委員	藤原喜美子	民俗行事、民俗資料	流通科学大学准教授

2 会議

- 第1回 日時 平成29年8月21日（月）午後2時00分から3時15分まで
場所 教育委員室（加古川市役所新館8階）
出席者 茂渡委員長、上月委員、友久委員、岡田委員、東野委員、藤原委員
内容 ○平成28年度文化財関係事業及び決算について
○平成29年度文化財関係事業及び予算について
○歴史文化基本構想策定に係る基礎調査の協力について
○その他、指定文化財候補及び行政に係る意見交換など
- 第2回 日時 平成29年12月20日（水）午後2時から3時35分まで
場所 教育委員室（加古川市役所新館8階）
出席者 茂渡委員長、金子副委員長、上月委員、友久委員、岡田委員、藤原委員
内容 ○平成29年度加古川市指定文化財指定申請に係る審議について
・天坊山古墳出土品一括
・木造聖徳太子立像（鶴林寺）
○指定文化財などの状況について
・市指定文化財「縹糸胸取金茶威二枚胴童具足」の所在場所変更届について
○文化財関係事業について
・事業などの計画・進行状況について
・民間開発に伴う石町中世墓本発掘調査について
・雁戸井地区ほ場整備事業に伴う古堂廃寺本発掘調査について
・歴史文化基本構想策定事業について
○その他
・歴史文化基本構想策定に係る文化財調査協力依頼について

第3回 日時 平成30年1月24日（水）午後1時45分から4時15分まで
場所 鶴林寺、加古川総合文化センター博物館、視聴覚室（加古川市立中央図書館2階）
出席者 茂渡委員長、金子副委員長、魚津委員、上月委員、友久委員、岡田委員、東野委員
内容 ○平成29年度加古川市指定文化財指定申請に係る現地調査及び審議について
・天坊山古墳出土品一括
・木造聖徳太子立像（鶴林寺）

（平尾）

第5章 文化財関係の事務処理

1 指定・登録文化財事務

(1) 指定文化財の所在場所変更届出

平成29（2017）年度は、表8のとおり加古川市指定文化財の所在場所変更届出の処理を行った。

表8 指定文化財所有場所変更届出一覧

番号	名称	員数	区分	変更の目的	変更前所在場所	変更後所在場所	期間	文書番号
1	縹糸胸取金茶威 二枚胴道具足	1領	市指定	日本甲冑武器研究保存会 「甲冑展」での展示	平岡町西谷18番	三重県津市一身田 上津部田3060番 三重県総合博物館	2月2日 ～3月19日	加教文 第532号

2 埋蔵文化財事務

(1) 埋蔵文化財包蔵地の照会

平成29年度における埋蔵文化財包蔵地の照会件数は2,482件（昨年度比+277件）であった。その内訳は、事業者による計画前の照会が2,236件、建設予定地に関する事前合議等が158件、開発事業に関する事前協議等が88件である。

(2) 文化財保護法に基づく埋蔵文化財発掘届出・通知

平成29年度における文化財保護法第93・94条に基づく埋蔵文化財発掘届出・通知の処理件数は、197件（昨年度比-4件）であった（表9）。このうち、第93条に基づく発掘届出は185件、第94条に基づく発掘通知は12件である。工事目的の内訳は、道路4件、学校施設1件、住宅59件、個人住宅73件、店舗2件、個人住宅兼店舗1件、その他建物3件、宅地造成4件、水道・ガス・電気43件、農業基盤整備3件、その他開発4件である。

表9 埋蔵文化財発掘届出・通知一覧

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
1	聖陵山古墳 古墳 古墳	その他開発 駐車場設置	野口町長砂1051番	個人	工事立会		前年度 加教文第2479号
2	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口37番3	事業者	工事立会		加教文第3号
3	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口37番31	事業者	慎重工事		加教文第4号
4	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口109番1・4、 111番4	個人	確認調査 慎重工事	4月19日	加教文第6号
5	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	住宅	東神吉町西井ノ口217番4	事業者	確認調査 慎重工事	4月12日	加教文第7号
6	加古川城跡 城館跡 中世	住宅	加古川町本町108番16	事業者	工事立会		加教文第8号
7	志方大歳神社遺跡 散布地 旧石器	個人住宅	志方町上富木668番2・5・ 6	個人	確認調査 慎重工事	4月28日	加教文第9号
8	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	宅地造成	加古川町美乃利337番1・4	事業者	確認調査 慎重工事	6月5・6日	加教文第10号
9	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	ガス	神野町西条1162番地先	事業者	慎重工事		加教文第11号
10	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利113番25	個人	慎重工事		加教文第12号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
11	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北二丁目21・22番	事業者	慎重工事		加教文第13号
12	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	住宅	神野町西条1059番16	事業者	慎重工事		加教文第29号
13	観音寺城跡 城館跡 中世	個人住宅	志方町志方町1519番1	個人	確認調査 慎重工事	5月11日	加教文第68号
14	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北三丁目1番9	事業者	工事立会		加教文第74号
15	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	個人住宅	神野町西条1059番6	個人	慎重工事		加教文第107号
16	今福遺跡 集落跡 弥生	個人住宅	尾上町今福355番7	個人	慎重工事		加教文第203号
17	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	宅地造成	加古川町溝之口75番1	事業者	慎重工事		加教文第209号
18	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北二丁目26番2	事業者	慎重工事		加教文第221号
19	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口37番27	事業者	慎重工事		加教文第264号
20	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北三丁目1番7	事業者	工事立会		加教文第300号
21	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利113番18・26	個人	慎重工事		加教文第319号
22	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口333番1	事業者	慎重工事		加教文第341号
23	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口107番12	個人	慎重工事		加教文第364号
24	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口223番21～15地先	事業者	慎重工事		加教文第382号
25	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口69番1～75番1地先	事業者	慎重工事		加教文第397号
26	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	ガス	東神吉町西井ノ口217番4地先	事業者	慎重工事		加教文第421号
27	一色構居跡 城館跡 中世	ガス	平岡町一色517番地先	事業者	慎重工事		加教文第439号
28	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利381番5	事業者	工事立会		加教文第504号
29	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利381番6	事業者	慎重工事		加教文第505号
30	今福遺跡 集落跡 弥生	住宅	尾上町今福342番6	事業者	慎重工事		加教文第540号
31	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北三丁目1番10	事業者	慎重工事		加教文第562号
32	中西低地遺跡 集落跡 弥生～古墳	店舗	西神吉町大国1番1、中西61番3	事業者	確認調査 慎重工事	6月13日	加教文第563号
33	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口122番1・3の各一部	個人	確認調査 工事立会	7月25・26日	加教文第564号
34	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	ガス	野口町良野990番9～991番6地先	事業者	慎重工事		加教文第570号
35	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	ガス	東神吉町砂部333番1地先	事業者	工事立会		加教文第616号
36	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町美乃利513番3～493番地先	事業者	工事立会		加教文第617号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
37	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	個人住宅	神野町西条1059番7	個人	慎重工事		加教文第629号
38	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利644番10	個人	慎重工事		加教文第648号
39	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	住宅	東神吉町西井ノ口10番2	事業者	慎重工事		加教文第650号
40	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口109番1地先	事業者	慎重工事		加教文第665号
41	観音寺城跡 城館跡 中世	住宅	志方町志方町1121番2・3 の各一部	事業者	慎重工事		加教文第666号
42	長砂構居跡 城館跡 中世	その他建物	野口町長砂598番1、2の一 部、3、597番8	個人	確認調査 慎重工事	8月2日	加教文第675号
43	神木遺跡 集落跡 奈良	下水道	平荘町神木163番地先	加古川市 上下水道局	工事立会		加教文第679号
44	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	住宅	野口町良野990番7	事業者	慎重工事		加教文第680号
45	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	住宅	野口町良野990番12	事業者	慎重工事		加教文第681号
46	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利381番1	個人	慎重工事		加教文第690号
47	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	個人住宅	神野町西条1059番15	個人	慎重工事		加教文第691号
48	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利642番9	個人	確認調査 工事立会	8月9日	加教文第692号
49	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町美乃利333番8地先	事業者	工事立会		加教文第698号
50	中西廃寺 社寺跡 奈良	住宅	西神吉町中西224番10・11	事業者	慎重工事		加教文第746号
51	石町中世墓 その他の墳墓 中世	その他開発 駐車場進入路 設置	別府町石町54番1・2	事業者	確認調査等 発掘調査	6月27日～ 7月4日	加教文第758号
52	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	その他建物	野口町坂元北二丁目40番5	事業者	慎重工事		加教文第763号
53	加古川城跡 城館跡 中世	個人住宅	加古川町本町108番13	個人	慎重工事		加教文第766号
54	平津構居跡 城館跡 中世	個人住宅	米田町平津522番2	個人	確認調査 工事立会	7月13日	加教文第796号
55	升田遺跡 集落跡 奈良	個人住宅	東神吉町升田1180・1181番 の各一部	個人	確認調査 慎重工事	10月30日	加教文第803号
56	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北四丁目30番2	個人	慎重工事		加教文第804号
57	今福遺跡 集落跡 弥生	個人住宅	尾上町今福338番6	個人	慎重工事		加教文第805号
58	今福遺跡 集落跡 弥生	住宅	尾上町今福358番14・16、 355番12	事業者	慎重工事		加教文第806号
59	古大内遺跡 その他の遺跡 奈良	個人住宅	野口町古大内473番1	個人	慎重工事		加教文第832号
60	尾上構居跡 城館跡 中世	ガス	尾上町長田426番2地先	事業者	慎重工事		加教文第850号
61	天下原遺跡 集落跡 弥生～奈良	下水道	東神吉町天下原164番1～ 172番5地先	加古川市 上下水道局	工事立会		加教文第917号
62	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北四丁目7番 3、10番1	事業者	慎重工事		加教文第920号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
63	長砂遺跡 集落跡 弥生	ガス	野口町長砂1083番1地先	事業者	慎重工事		加教文第931号
64	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利337番4の一部	事業者	慎重工事		加教文第954号
65	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北三丁目1番1	事業者	慎重工事		加教文第955号
66	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北二丁目21・22番の一部	個人	慎重工事		加教文第956号
67	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利381番7・8	事業者	慎重工事		加教文第961号
68	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利644番1	個人	確認調査 慎重工事	10月4日	加教文第966号
69	浜の宮遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	尾上町口里515番2・13	個人	慎重工事		加教文第992号
70	今福遺跡 集落跡 弥生	住宅	尾上町今福338番7	事業者	慎重工事		加教文第1025号
71	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	その他開発 擁壁工事	野口町坂元北二丁目41番2・4	事業者	慎重工事		加教文第1026号
72	升田遺跡 集落跡 奈良	個人住宅	東神吉町升田993番5・6	個人	慎重工事		加教文第1031号
73	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	下水道	加古川町大野823～845番地先	加古川市 上下水道局	工事立会		加教文第1032号
74	神吉城跡 城館跡 中世	個人住宅	東神吉町神吉1137番16、20の一部	個人	慎重工事		加教文第1051号
75	今福遺跡 集落跡 弥生	個人住宅	尾上町今福338番9	個人	慎重工事		加教文第1058号
76	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口309番8	個人	慎重工事		加教文第1070号
77	大野遺跡 集落跡 平安～中世	個人住宅	加古川町中津919番3の一部	個人	慎重工事		加教文第1071号
78	古大内遺跡 その他の遺跡 奈良	ガス	野口町古大内349番13～23地先	事業者	慎重工事		加教文第1078号
79	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町美乃利337～356番地先	事業者	慎重工事		加教文第1079号
80	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番10	個人	慎重工事		加教文第1081号
81	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番8	個人	慎重工事		加教文第1082号
82	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利465番2、493番12	事業者	慎重工事		加教文第1100号
83	長砂遺跡 集落跡 弥生	住宅	野口町長砂1083番1・3	事業者	慎重工事		加教文第1130号
84	加古川城跡 城館跡 中世	住宅	加古川町本町108番1	事業者	慎重工事		加教文第1149号
85	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利493番11	事業者	慎重工事		加教文第1150号
86	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	ガス	神野町西条1079番地先	事業者	工事立会		加教文第1155号
87	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	その他建物	野口町良野35番1	事業者	慎重工事		加教文第1202号
88	浜の宮遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	尾上町口里560番3・4	個人	慎重工事		加教文第1215号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
89	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番11	個人	慎重工事		加教文第1219号
90	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	住宅	野口町良野990番13	事業者	慎重工事		加教文第1222号
91	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北二丁目41番2	事業者	慎重工事		加教文第1223号
92	大野遺跡 集落跡 平安～中世	ガス	加古川町中津919番3地先	事業者	慎重工事		加教文第1224号
93	浜の宮遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	尾上町口里716番20	個人	慎重工事		加教文第1233号
94	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町美乃利642番9地先	事業者	工事立会		加教文第1272号
95	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	東神吉町砂部374番95	個人	慎重工事		加教文第1288号
96	神吉南遺跡 集落跡 弥生～奈良	住宅	東神吉町神吉61番12	事業者	慎重工事		加教文第1323号
97	片山遺跡 集落跡 弥生・奈良～中世	農業基盤整備	八幡町下村地内	兵庫県 北播磨県民局	確認調査等 発掘調査	平成27～28年度 に確認調査等 を実施	加教文第1346号
98	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北四丁目29番3	個人	慎重工事		加教文第1360号
99	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番2	個人	慎重工事		加教文第1369号
100	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	水道、ガス	加古川町溝之口149番1の一部、5	事業者	慎重工事		加教文第1398号
101	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	住宅	東神吉町西井ノ口10番10	事業者	慎重工事		加教文第1401号
102	高田構居跡 城館跡 中世	ガス	神野町神野946番～西条1285番2地先	事業者	慎重工事		加教文第1402号
103	具平塚遺跡 散布地 弥生	宅地造成	野口町良野563番2	事業者	慎重工事		加教文第1440号
104	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	ガス	野口町良野978番1地先	事業者	工事立会		加教文第1453号
105	大野遺跡 集落跡 平安～中世	ガス	加古川町中津919番14～921番1地先	事業者	慎重工事		加教文第1454号
106	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	住宅	加古川町美乃利525番22・35	事業者	確認調査 慎重工事	10月31日	加教文第1466号
107	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	下水道	東神吉町砂部278番9地先	加古川市 上下水道局	慎重工事		加教文第1470号
108	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	ガス	野口町坂元北二丁目21番地先	事業者	工事立会		加教文第1501号
109	加古川城跡 城館跡 中世	個人住宅	加古川町本町308番3	個人	慎重工事		加教文第1502号
110	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口396番1、397番3	個人	慎重工事		加教文第1503号
111	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	住宅	野口町良野990番8	事業者	慎重工事		加教文第1506号
112	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	住宅	野口町良野990番9	事業者	慎重工事		加教文第1507号
113	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	住宅	野口町良野990番14	事業者	慎重工事		加教文第1508号
114	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北五丁目36番1	個人	慎重工事		加教文第1519号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
115	東沢4号墳 古墳 古墳	農業基盤整備	八幡町上西条地内	兵庫県 北播磨県民局	確認調査 発掘調査 ^{註2}	10月30日 ～12月6日	加教文第1521号
116	東沢5号墳 古墳 古墳	農業基盤整備	八幡町上西条地内	兵庫県 北播磨県民局	確認調査 発掘調査 ^{註2}	10月30日 ～12月6日	加教文第1522号
117	具平塚遺跡 散布地 弥生	ガス	野口町良野563番地先	事業者	慎重工事		加教文第1547号
118	尾上構居跡 城館跡 中世	住宅	尾上町長田485番17・26	事業者	慎重工事		加教文第1556号
119	今福遺跡 集落跡 弥生	個人住宅	尾上町今福345番6～8	個人	慎重工事		加教文第1570号
120	岸遺跡 集落跡 縄文～弥生	個人住宅	西神吉町岸371番4	個人	確認調査 慎重工事	12月13日	加教文第1571号
121	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北三丁目1番5	事業者	慎重工事		加教文第1572号
122	加古川城跡 城館跡 中世	住宅	加古川町本町108番14	事業者	慎重工事		加教文第1599号
123	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	ガス	野口町坂元北一丁目26番1 地先	事業者	工事立会		加教文第1602号
124	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	ガス	野口町坂元北二丁目41番地 先	事業者	慎重工事		加教文第1603号
125	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口76番6	個人	慎重工事		加教文第1608号
126	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口76番7	個人	慎重工事		加教文第1609号
127	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅兼店 舗	野口町坂元北二丁目92番地	個人	慎重工事		加教文第1636号
128	北大塚古墳 古墳 古墳	住宅	神野町日岡苑16番13	事業者	確認調査 慎重工事	11月28日	加教文第1658号
129	粟津大年遺跡 集落跡 中世	個人住宅	加古川町粟津323番4・5	個人	慎重工事		加教文第1680号
130	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番3	個人	慎重工事		加教文第1682号
131	具平塚遺跡 散布地 弥生	住宅	野口町良野518番6・10、 522番32・38	事業者	慎重工事		加教文第1685号
132	下村遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	八幡町下村879番1、908番	個人	確認調査 慎重工事	11月29日	加教文第1689号
133	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	ガス	野口町坂元北二丁目41番地 先	事業者	慎重工事		加教文第1705号
134	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北二丁目21番4	個人	慎重工事		加教文第1769号
135	古大内遺跡 その他の遺跡 奈良	個人住宅	野口町古大内450番5、7の 一部、8	個人	慎重工事		加教文第1774号
136	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	住宅	東神吉町神吉608番157	事業者	慎重工事		加教文第1775号
137	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北二丁目21番6	個人	慎重工事		加教文第1795号
138	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番1	個人	慎重工事		加教文第1803号
139	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番9	個人	慎重工事		加教文第1804号
140	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口56番1	個人	慎重工事		加教文第1809号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
141	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口109番1地先	事業者	慎重工事		加教文第1811号
142	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口36番16	事業者	慎重工事		加教文第1826号
143	一色構居跡 城館跡 中世	個人住宅	平岡町一色530番2・8	個人	慎重工事		加教文第1833号
144	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北五丁目14番2	個人	慎重工事		加教文第1886号
145	今福遺跡 集落跡 弥生	個人住宅	尾上町今福345番3	個人	慎重工事		加教文第1895号
146	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口122番1地先	事業者	慎重工事		加教文第1904号
147	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口149番5・7 の各一部	個人	慎重工事		加教文第1943号
148	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口333番1地先	事業者	工事立会		加教文第1950号
149	古代山陽道 その他の遺跡 奈良	ガス	野口町二屋360番地先	事業者	工事立会		加教文第1951号
150	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	住宅	東神吉町砂部354番49	事業者	慎重工事		加教文第1964号
151	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北一丁目26番2	個人	慎重工事		加教文第1973号
152	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	その他開発 屋外看板設置	野口町良野23番	事業者	慎重工事		加教文第1976号
153	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北二丁目21番8	個人	慎重工事		加教文第1977号
154	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	学校施設	加古川町大野845番	加古川市	確認調査 慎重工事	1月23日	加教文第1978号
155	樋之口遺跡 集落跡 弥生	住宅	尾上町養田352番15	事業者	慎重工事		加教文第1979号
156	神野北山遺跡 生産遺跡 古墳	店舗	神野町神野204番1ほか	事業者	慎重工事		加教文第1981号
157	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口149番1、5 の一部	個人	慎重工事		加教文第2009号
158	一色構居跡 城館跡 中世	住宅	平岡町一色61番8	事業者	慎重工事		加教文第2044号
159	一色構居跡 城館跡 中世	住宅	平岡町一色61番10	事業者	慎重工事		加教文第2045号
160	一色構居跡 城館跡 中世	住宅	平岡町一色61番11	事業者	慎重工事		加教文第2046号
161	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口148番14	個人	慎重工事		加教文第2048号
162	観音寺城跡 城館跡 中世	個人住宅	志方町志方町1542番4・6・ 7	個人	慎重工事		加教文第2056号
163	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口150番3～ 153番7地先	事業者	慎重工事		加教文第2072号
164	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口133番7	個人	慎重工事		加教文第2080号
165	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	ガス	野口町坂元北五丁目14番2 地先	事業者	慎重工事		加教文第2119号
166	中津構居跡 城館跡 中世	個人住宅	加古川町中津124番3	個人	慎重工事		加教文第2152号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
167	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	個人住宅	神野町西条1056番4、1059番1	個人	慎重工事		加教文第2175号
168	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町美乃利104番13	個人	慎重工事		加教文第2196号
169	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元1083番	個人	慎重工事		加教文第2218号
170	野口庵寺 社寺跡 奈良	個人住宅	野口町野口350番21	個人	慎重工事		加教文第2219号
171	観音寺城跡 城館跡 中世	住宅	志方町志方町1550番ほか	事業者	慎重工事		加教文第2220号
172	細田構居跡 城館跡 中世	個人住宅	野口町良野1015番	個人	慎重工事		加教文第2246号
173	美乃利遺跡 集落跡 弥生～中世	宅地造成	加古川町大野713番2	事業者	確認調査 慎重工事	2月27日	加教文第2247号
174	浜の宮遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	尾上町口里560番2・5	個人	慎重工事		加教文第2312号
175	皿辻遺跡 集落跡 中世	道路	八幡町宗佐542番1	兵庫県 東播磨県民局	確認調査 発掘調査	兵庫県教育委員会 が実施	加教文第2362号
176	宗佐遺跡 集落跡 弥生・中世	道路	八幡町宗佐1番ほか	兵庫県 東播磨県民局	確認調査 発掘調査	兵庫県教育委員会 が実施	加教文第2363号
177	片山遺跡 集落跡 弥生・奈良～中世	道路	八幡町宗佐299番1ほか	兵庫県 東播磨県民局	確認調査 発掘調査	兵庫県教育委員会 が実施	加教文第2364号
178	宗佐南遺跡 集落跡 中世	道路	八幡町宗佐40番1ほか	兵庫県 東播磨県民局	確認調査 発掘調査	兵庫県教育委員会 が実施	加教文第2365号
179	浜の宮遺跡 集落跡 弥生～古墳	ガス	尾上町口里727番16地先	事業者	慎重工事		加教文第2367号
180	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北二丁目21番3	個人	慎重工事		加教文第2385号
181	東神吉遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	東神吉町西井ノ口218番3・14	個人	慎重工事		加教文第2387号
182	一色構居跡 城館跡 中世	住宅	平岡町一色15番1、16番6	事業者	確認調査 慎重工事	平成30年度に確 認調査を実施	加教文第2417号
183	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町美乃利337番7の一部	事業者	慎重工事		加教文第2430号
184	尾上遺跡 集落跡 弥生～古墳	個人住宅	尾上町長田256番23	個人	慎重工事		加教文第2467号
185	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口356番地先	事業者	慎重工事		加教文第2482号
186	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	個人住宅	加古川町溝之口75番7	個人	慎重工事		加教文第2487号
187	具平塚遺跡 散布地 弥生	個人住宅	野口町良野563番2・14	個人	慎重工事		加教文第2497号
188	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口344番2～353番8地先	事業者	慎重工事		加教文第2511号
189	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口36番18地先	事業者	慎重工事		加教文第2512号
190	樋之口遺跡 集落跡 弥生	ガス	尾上町養田352番15地先	事業者	慎重工事		加教文第2550号
191	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	個人住宅	野口町坂元北二丁目41番4	個人	慎重工事		加教文第2556号
192	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	住宅	加古川町溝之口75番8	事業者	慎重工事		加教文第2568号

番号	遺跡	工事の目的	所在地	届出者	指導事項	調査期間 ^{註1}	文書番号
193	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	ガス	加古川町溝之口150番3～ 152番2地先	事業者	慎重工事		加教文第2575号
194	志方大歳神社遺跡 散布地 旧石器	個人住宅	志方町上富木672番4	個人	慎重工事		加教文第2608号
195	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北二丁目21番9	事業者	慎重工事		加教文第2641号
196	坂元遺跡 集落跡 縄文～中世	住宅	野口町坂元北二丁目21番10	事業者	慎重工事		加教文第2642号
197	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	ガス	野口町良野613番2地先	事業者	工事立会		加教文第2665号

註1：調査期間は確認調査の期間であり、発掘調査及び工事立会の期間は記載していない。
 註2：東沢4・5号墳における発掘調査は、その後の協議によって実施しないこととなった。

(3) 文化財保護法に基づく埋蔵文化財発掘調査通知

平成29年度は、表10のとおり文化財保護法第99条に基づく埋蔵文化財発掘調査通知を報告した。

表10 埋蔵文化財発掘調査通知一覧

番号	遺跡名	所在地	調査面積	調査の契機	調査期間	調査担当者	文書番号	備考
1	石町中世墓 その他の墳墓 中世	別府町石町54番 1・2	86㎡	その他開発 駐車場進入路 設置	9月8日 ～10月11日	西岡巧次 平尾英希	加教文 第758号	
2	古堂廃寺 社寺跡 奈良	八幡町上西条地内	216㎡	農業基盤整備	11月1日 ～12月8日	山中リュウ	加教文 第1832号	
3	片山遺跡 集落跡 弥生・奈良～中世	八幡町下村地内	230㎡	農業基盤整備	1月10日 ～2月28日	西岡巧次 平尾英希	加教文 第1346号	

(4) 周知の埋蔵文化財包蔵地の変更

平成29年度は、表11のとおり周知の埋蔵文化財包蔵地の変更を報告した。

表11 周知の埋蔵文化財包蔵地の変更一覧

番号	遺跡名	所在地	変更理由	発見年月日	発見の事情	文書番号など	備考
1	平尾山古墳 古墳 古墳	上荘町小野685番 4、薬栗1046番 33・35	全域発見	平成29年5月18日	分布調査	平成29年6月16日 加教文第85号	平成29年7月3日付 教文第1654号にて通 知
2	片山遺跡 集落跡 弥生・奈良～中世	八幡町下村	全域発見	平成29年1月10日	試掘調査	平成29年6月7日 加教文第571号	平成29年9月4日付 教文第2048号にて通 知
3	皿辻遺跡 集落跡 中世	八幡町下村	全域発見	平成29年1月10日	試掘調査	平成29年6月7日 加教文第572号	平成29年9月4日付 教文第2049号にて通 知
4	宗佐遺跡 集落跡 弥生・中世	八幡町宗佐	全域発見	平成29年2月1日	試掘調査	平成29年6月8日 加教文第574号	平成29年7月3日付 教文第1652号にて通 知
5	宗佐南遺跡 集落跡 中世	八幡町宗佐	全域発見	平成29年2月1日	試掘調査	平成29年6月8日 加教文第577号	平成29年7月3日付 教文第1653号にて通 知
6	前谷遺跡 集落跡 奈良～平安	八幡町下村	全域発見	平成29年2月28日	試掘調査	平成29年6月19日 加教文第627号	平成29年7月3日付 教文第1655号にて通 知
7	東沢3号墳 古墳 古墳	八幡町上西条	全域発見	平成17年11月4日	本発掘調査	平成29年6月20日 加教文第642号	未通知 ※令和2年3月時点

番号	遺跡名	所在地	変更理由	発見年月日	発見の事情	文書番号など	備考
8	東沢4号墳 古墳 古墳	八幡町上西条	「天王山遺跡」から名称変更		分布調査	平成29年6月20日 加教文第644号	平成29年7月3日付 教文第1656号にて通 知
9	東沢5号墳 古墳 古墳	八幡町上西条	全域発見	平成29年5月30日	分布調査	平成29年6月20日 加教文第645号	平成29年7月3日付 教文第1657号にて通 知
10	神野山中遺跡 集落跡 古墳	神野町石守	全域発見	平成6年4月26日	本発掘調査	平成29年6月21日 加教文第655号	未通知 ※令和2年3月時点
11	天王山4号墳 古墳 古墳	八幡町上西条	全域発見	平成18年8月18日	本発掘調査	平成29年6月21日 加教文第656号	未通知 ※令和2年3月時点
12	天王山5号墳 古墳 古墳	八幡町上西条	全域発見	平成18年8月18日	本発掘調査	平成29年6月21日 加教文第657号	未通知 ※令和2年3月時点
13	石町中世墓 その他の墳墓 中世	別府町石町	全域発見	平成29年6月22日	試掘調査	平成29年6月27日 加教文第701号	平成29年6月28日付 教文第1687号にて通 知

(5) 埋蔵物発見届

平成29年度は、表12のとおり埋蔵物発見届を提出した。

表12 埋蔵物発見届一覧

番号	遺跡名	所在地	埋蔵物の名称及び数量	発見月日	発見者	土地所有者	文書番号
1	大塚遺跡 集落跡 奈良～中世	野口町良野35番1	土師器・須恵器など ビニール袋1袋	5月29日	加古川市教育 委員会	事業者	加教文第472号
2	溝之口遺跡 集落跡 弥生～平安	加古川町美乃利113 番1ほか	弥生土器・須恵器など 収納コンテナ1箱	5月29日	加古川市教育 委員会	個人	加教文第472号
3	神野遺跡 集落跡 縄文～平安	神野町西条1059番 1・2、1060番、 1061番	土師器・須恵器など 収納コンテナ1箱	5月29日	加古川市教育 委員会	事業者	加教文第472号
4	尼塚古墳 古墳 古墳	山手二丁目1700番 51	埴輪 収納コンテナ11箱	6月26日	加古川市教育 委員会	加古川市	加教文第702号
5	人塚古墳 古墳 古墳	山手二丁目1700番 100・103・111	埴輪・瓦 収納コンテナ27箱	6月26日	加古川市教育 委員会	加古川市	加教文第702号
6	石町中世墓 その他の墳墓 中世	別府町石町54番 1・2	土師器・須恵器・青磁など 収納コンテナ4箱	10月11日	加古川市教育 委員会	事業者	加教文第758号
7	片山遺跡 集落跡 弥生・奈良～中世	八幡町下村地内	弥生土器・土師器・須恵器・ 磁器・石器 収納コンテナ1箱	2月28日	加古川市教育 委員会	個人(78名)	加教文第1346号
8	古堂廃寺 社寺跡 奈良	八幡町上西条地内	土師器・須恵器・青磁など 収納コンテナ2箱	12月8日	加古川市教育 委員会	個人(5名)	加教文第1832号

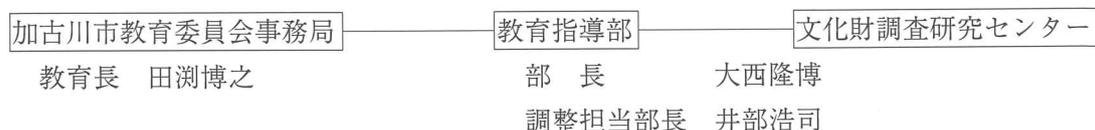
(平尾)

第6章 組織、予算・決算、管理

1 文化財保護事務の体制

(1) 事務局

平成29（2017）年度の加古川市教育委員会の文化財保護事務の体制は以下のとおりである。



(2) 職員

平成29年度の文化財調査研究センターの職員は以下のとおりである。

所長	沼田好博
副所長	宮本佳典（学芸員）
庶務担当係長	安田啓一郎
主査	藤原典子（再任用職員）
学芸員	山中リュウ
学芸員	浅井達也（任期付職員）
学芸員	平尾英希
嘱託員	西岡巧次（埋蔵文化財専門員）

2 予算・決算

(1) 歳入決算額（ ）内は当初予算額

(款) 国庫支出金	(項) 国庫補助金	(目) 教育費国庫補助金	5,293千円（5,652千円）
(款) 県支出金	(項) 県庫補助金	(目) 教育費県庫補助金	1,050千円（1,600千円）
(款) 諸収入	(項) 受託事業収入	(目) 教育費受託収入	7,531千円（23,784千円）
(款) 諸収入	(項) 雑入	(目) 雑入	23千円（30千円）
計			13,897千円（31,066千円）

(2) 歳出決算額（ ）内は当初予算額、事業名の下に主な事業内容を記入

(款) 教育費	(項) 社会教育費	(目) 文化財保護費	以上共通
(事業) 文化財調査事業			12,633千円（39,933千円）
	市内遺跡発掘調査（国庫補助事業）		
	雁戸井地区ほ場整備事業に伴う本発掘調査・確認調査、公共事業に伴う試掘調査		
(事業) 文化財保護活動事業			5,889千円（6,547千円）
	文化財審議委員会等開催、文化財ニュース発行、文化財講座開催、文化財説明板設置		
	史跡及び建造物等管理、文化財保存管理補助、史跡及び建造物等草刈等管理、		
	その他の文化財関係事務		
(事業) 歴史文化基本構想策定事業（国庫補助事業）			4,502千円（4,905千円）
	歴史文化基本構想基礎調査		
計			23,024千円（51,385千円）

3 施設管理等

環境整備として、加古川市が管理する行者塚古墳、尼塚古墳、人塚古墳（以上、国史跡）、西条廃寺（県史跡）、平木橋（市指定文化財）、里古墳、西山大塚古墳、南大塚古墳、西大塚古墳、西車塚古墳の草刈等環境整備を加古川市シルバー人材センターに業務を委託して行った。

加古川市が管理する県指定文化財本岡家住宅について、清掃及び案内等施設管理を加古川市シルバー人材センターに、また消防設備点検を専門業者に業務を委託して行った。

文化財説明板等設置及び環境整備として、加古川市が提供する文化財説明板等設置及び周辺の清掃等環境整備を加古川市シルバー人材センターに業務を委託して行った。

4 平成29年度業務日誌抄

- 4月8日 学術研究に係る資料調査（溝之口遺跡、美乃利遺跡出土資料）受入れ
- 4月18日 加古川文化財ガイドボランティア相談役数岡氏来所
- 4月22日 兵庫県立歴史博物館特別展「ひょうごの美ほとけ－五国を照らす仏像－」開会式出席（宮本）
- 4月24日 元北在家道標の現状把握調査（宮本・平尾）
- 4月26日 神野小学校6年生歴史学習に係る講師派遣（平尾）
- 4月30日 加古川総合文化センター博物館歴史教室に係る講師派遣（山中）
- 5月5日 本岡家住宅こどもの日特別公開、「箏曲柳の会」と「すみれキンダーガーデン」合同コンサート及び体験教室に係る使用受入れ（沼田）
- 5月9日～5月10日 雁戸井ほ場整備事業に伴う八幡町中西条地区の分布調査
- 5月23日 企画展準備に係る資料調査（行者塚古墳出土資料）受入れ
- 5月24日 学術研究に係る資料調査（東車塚古墳出土資料）受入れ
- 5月24日 加古川総合文化センターアドバイザーボード委員第1回会議出席（宮本）
- 5月29日 兵庫県文化財主管課連絡会議のため兵庫県職員会館へ出張（沼田、平尾）
- 6月1日 学術研究に係る資料調査（升田山15号墳出土資料）受入れ
- 6月3日 野口公民館地域学講座に係る講師派遣（宮本）
- 6月5日～6月9日 トライやる・ウィーク平岡中学校2年生2名受入れ（平尾ほか）
- 6月12日 「歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業」説明会のため京都国立博物館へ出張（宮本）
- 7月21日 学術研究に係る資料調査（古大内遺跡出土資料）受入れ
- 7月14日 備後の水路橋石材の現状把握調査（宮本・山中・浅井）
- 7月13日 第20回全史協近畿地区協議会総会・研修会及び現地研修会－大和郡山大会－のためDMGMORIやまと郡山城ホールへ出張（平尾）
- 7月19日 平成29年度加古川市文化財保護協会理事会出席（沼田）
- 7月28日 特別展準備に係る資料調査（行者塚古墳出土資料）受入れ
- 8月21日 第1回文化財審議委員会開催
- 8月30日 平成30年度文化財関係補助事業計画ヒアリングのため兵庫県庁へ出張（宮本・山中）
- 9月7日～9月8日 埋蔵文化財担当職員研修（基礎研修）のため兵庫県立考古博物館へ出張（山中・浅井・平尾）
- 9月8日～10月11日 民間開発に伴う石町中世墓本発掘調査
- 9月25日 地区別兵庫県の祭り・行事調査検討会のため明石市立勤労福祉会館へ出張（沼田）

- 9月27日 石町中世墓発掘調査現地説明会開催
- 9月27日 学術研究に係る資料調査（白沢2号窯跡出土資料）受入れ
- 9月28日 学術研究に係る資料調査（行者塚古墳出土資料）受入れ
- 10月2日 テレビ番組作成に係る取材（行者塚古墳出土資料）受入れ
- 10月4日～10月5日 第52回全国史跡整備市町村協議会のため東広島芸術文化ホール「くらら」ほかへ出張（平尾）
- 10月12日 平成29年度東播磨・北播磨地区文化財担当者会議のため那珂ふれあい館へ出張（浅井）
- 10月26日 平成29年度兵庫県都市文化財保護行政連絡協議会総会のため播磨内陸生活文化総合センターへ出張（沼田）
- 11月1日～12月8日 雁戸井ほ場整備事業に伴う古堂廃寺本発掘調査
- 11月5日 第1回文化財講座開催
- 11月10日 歴史文化基本構想等説明会のため兵庫県中央労働センターへ出張（宮本）
- 11月18日 第2回文化財講座開催
- 11月18日 つつじ野地区人権・同和教育町内懇談会出席（宮本）
- 11月22日 加古川総合文化センターアドバイザーボード委員第2回会議出席（宮本）
- 11月24日～11月30日 本岡家住宅秋の特別公開
- 11月28日 陵南公民館火曜陵南もの知り講座に係る講師派遣（沼田）
- 12月1日 平成29年度兵庫県埋蔵文化財調査成果連絡会のため兵庫県立考古博物館へ出張（平尾）
- 12月2日 第3回文化財講座開催
- 12月7日 学術研究に係る資料調査（行者塚古墳出土資料）受入れ
- 12月20日 第2回文化財審議委員会開催
- 12月28日 『溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅲ』（加古川市文化財調査報告27）、『中道子山城跡発掘調査報告書Ⅱ』（加古川市文化財調査報告28）発行
- 1月9日 いなみ野学園大学院講座に係る講師派遣（宮本）
- 1月10日～2月28日 雁戸井ほ場整備事業に伴う片山遺跡本発掘調査
- 1月22日 平成30年度文化芸術振興費補助金ヒアリングのため文化庁地域文化創生本部へ出張（宮本）
- 1月24日 第3回文化財審議委員会開催
- 1月21日 「文化財防火デー」鶴林寺消防訓練出席（沼田）
- 2月17日 学術研究に係る資料調査（行者塚古墳出土資料）受入れ
- 2月21日 兵庫県史跡整備協議会総会及び研修会のため佐用町役場ほかへ出張（沼田）
- 3月1日 平成29年度博物館資料取扱研修会のため兵庫県立歴史博物館へ出張（平尾）
- 3月13日～3月14日 文化財説明板・標柱立替え作業
- 3月16日 平成29年度全史協近畿地区協議会専門研修会のため広陵中央公民館ほかへ出張（山中）
- 3月23日 『文化財解説シート』第13～16号発行
- 3月30日 『加古川市文化財年報第1号平成27（2015）年度』、『文化財ニュース』61号発行
- 3月31日 『溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅳ・美乃利遺跡発掘調査報告書Ⅰ』（加古川市文化財調査報告29）発行

（平尾）

報告書抄録

ふりがな	かこがわしぶんかざいねんぼう だいさんごう
書名	加古川市文化財年報 第3号
副書名	平成29(2017)年度
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者	宮本佳典、浅井達也、平尾英希(編)
編集機関	加古川市教育委員会
所在地	〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1224-7
発行年月日	令和2(2020)年3月19日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みぞのくちいせき 溝之口遺跡	かこがわし 加古川市 かこがわちやう 加古川町 みのり 美乃利 337番1・4	28210	110010	34° 45' 56"	134° 51' 3"	2017年6月5日 ～2017年6月6日	22.5㎡	宅地造成
ひらつかまいあと 平津構居跡	かこがわし 加古川市 よねだちやうひらつか 米田町平津 522番2	28210	110276	34° 46' 53"	134° 48' 48"	2017年7月13日	6㎡	個人住宅
みぞのくちいせき 溝之口遺跡	かこがわし 加古川市 かこがわちやう 加古川町 みぞのくち 溝之口 122番1・3 の各一部	28210	110010	34° 45' 53"	134° 50' 46"	2017年7月25日 ～2017年7月26日	12㎡	住宅
ひがしまわ 東沢 4・5号墳	かこがわし 加古川市 やはなちやう 八幡町 かみさいちやう 上西条地内	28210	110618 110642	34° 46' 46"	134° 54' 3"	2017年10月30日 ～2017年12月6日	84㎡	雁戸井地区 ほ場整備事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
溝之口遺跡	集落	弥生時代 ～平安時代	-	土師器・須恵器	
平津構居跡	城館	中世	-	弥生土器・土師器・須恵器	
溝之口遺跡	集落	弥生時代 ～平安時代	溝	土師器・須恵器	
東沢 4・5号墳	古墳	古墳時代	周溝	須恵器	

加古川市文化財年報

第3号

平成29（2017）年度

令和2（2020）年3月19日発行

編集・発行 加古川市教育委員会 文化財調査研究センター
〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1224-7
Tel 079-423-4088 Fax 079-423-8975

印刷 小野高速印刷株式会社
〒670-0933 兵庫県姫路市平野町62
